

Journal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technologists

SHIZUOKA

# J·O·U·R·N·A·L

Vol. 24 No. 1 2014 (通巻190号)

## 目 次

卷頭言	『チーム医療』	会長 和田 健	1
会告	第35回 静岡ふれあい広場(9/7)		2
	平成26年度 第1回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会(9/7)		3
	第62回 超音波部会研修会(10/4)		4
	第1回 静岡県MRI技術研究会(10/25)		5
	第7回 中部放射線医療技術学術大会(愛知)(11/1~2)		6
	秋季公開講演会(11/23)		7
	平成26年度原子力災害緊急時対策研修会(11/29)		8
おめでとうございます	永年勤続表彰		9
新役員名簿			11
新役員挨拶			12
委員会・部会名簿			18
報告	平成25年度 静岡県放射線技師研修会(3/15)		20
	肺がん検診従事者講習会(3/29)		21
	第3回 (公社)静岡県放射線技師会定時総会		
	第19回 静岡県放射線技師学術大会(5/25)		22
	第74回 (公社)日本診療放射線技師会総会(6/7)		24
	第24回 乳腺画像部会研修会(6/14)		25
	フレッシャーズセミナー(6/15)		26
	第61回 超音波部会研修会(6/21)		27
	第23回 放射線技師のためのセミナー(6/28)		28
学術論文	第39回 MR1部会・第41回アンギオ部会合同研修会(2/15)		29
	平成25年度 静岡県放射線技師研修会(3/15)		32
	第23回 放射線技師のためのセミナー(6/28)		41
メッセージボード			54
本会の歩み			56
会員動静			57
本会への寄贈図書			58
平成26年度 第1回理事会議事録(4/19)			58
第3回 静岡県放射線技師会定時総会 議事録(抄)			67
平成26年度 臨時理事会議事録			75
行事予定カレンダー			77



公 益  
社団法人

静岡県放射線技師会

## 『チーム医療』

(公社)静岡県放射線技師会

会長 和田 健



社会保障・税一体改革大綱によると多種多様な職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中や外来通院中の患者の生活の質(QOL)の維持・向上、患者の人生観を尊重した療養の実現をサポートしている。

チーム医療を推進する観点から、業務範囲の見直しを検討し、診療放射線技師が実施する検査に伴い必要となる行為について、新たに業務範囲に追加として：

1. CT検査及びMRI検査等において造影剤自動注入器を用いた造影剤投与を行うこと。
2. 下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部(肛門)を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること等が挙げられる。

各医療スタッフの知識・技術の高度化への取り組みや、ガイドライン・プロトコール等を活用した治療の標準化の浸透などが、チーム医療を進める上で基盤となり、様々な医療現場でチーム医療の実践が始まっている。

チーム医療がもたらす具体的な効果としては、①疾病の早期発見・回復促進・重症化予防など医療・生活の質の向上 ②医療の効率性の向上による医療従事者の負担の軽減 ③医療の標準化・組織化を通じた医療安全の向上等が期待される。

今後、チーム医療を推進するためには、①各医療スタッフの専門性の向上 ②各医療スタッフの役割の拡大 ③医療スタッフ間の連携・補完の推進といった方向を基本として、

関係者がそれぞれの立場で様々な取り組みを進めこれを全国に普及させていく必要がある。

診療放射線技師については、医療技術の進歩により悪性腫瘍の放射線治療や画像検査が一般的なものになるなど、放射線治療・検査・管理や画像検査に関する業務が増大する中、当該業務の専門家として医療現場において果たし得る役割が大きくなっている。

こうした状況を踏まえ、診療放射線技師の専門性のさらなる活用の観点から、現行制度の下、例えば、画像診断等における読影の補助や放射線検査等に関する説明・相談を行うことが可能である旨の通達が既になされた。

医療スタッフ間における情報の共有のための手段としては、定型化した書式による情報の共有化や電子カルテを活用した情報の一元管理などが有効であり、そのための診療情報管理体制の整備等は重要である。

チーム医療の評価に当たっては、①医療の質(治療効果、合併症減少、医療安全向上等) ②患者の視点(早期社会復帰、治療への理解、患者満足度等) ③医療スタッフの視点(労働生産性の向上、負担軽減効果、スタッフの満足度等) ④経済的視点(労働生産性向上、費用対効果等)などを考慮する。

チーム医療の一員としての自覚と専門スキルを発揮して、県民が安心して受診できる医療供給体制であることを望むものである。

# 会 告

## 『第35回 静岡ふれあい広場参加者募集』

(公社)静岡県放射線技師会は、平成9年より「静岡ふれあい広場」に参加してまいりました。当会の活動は大変好評で、「静岡ふれあい広場」参加ごとに無料体験を受けていただいている方が増えています。

例年、超音波部会、管理士部会、乳腺画像部会、医療安全推進委員会、役員を中心に運営してまいりましたが、広く会員の皆様方にも参加していただいております。

本年も昨年同様多くの会員の皆様に参加、ご協力をお願いしたく、ご案内申しあげます。

### 記

- 【目的】**     ・ 公益社団法人として地域保健医療に関する活動の推進  
              ・ 日本放射線技師会の定める「レントゲン週間」の行動の一環  
              ・ 放射線および検査に関する知識の普及啓発
- 【日 時】**     平成26年9月7日（日） 9時より15時（少雨決行）
- 【場 所】**     静岡市青葉シンボルロード
- 【出展内容予定】**     ・ 腹部超音波検査の無料体験  
              ・ 骨密度測定の無料体験  
              ・ 乳がん検診のすすめ  
              ・ 身近にある放射線について  
              ・ 医療被ばく相談
- 【参加資格】**     会員
- 【募集人数】**     若干名
- 【申込締め切り】** 8月中旬
- 【申込方法】**     下記まで氏名、所属施設、会員番号、「静岡ふれあい広場参加希望」とご記入の上ご連絡ください。

広報担当常任理事 市川和秀

技師会E-mail : kouhou@shizuhogijp

電話 共立蒲原総合病院 0545-81-2211（代表）内線 8577

FAX 共立蒲原総合病院 0545-81-2208（代表）

\* 詳しい内容、打ち合わせの日時等は、決まり次第こちらからご連絡させていただきます。

# 会 告

## 『平成26年度 第1回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会』

厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ「CT、MRI検査等において造影剤投与終了後の静脈注路の抜針及び止血を行うこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されてきました。

この度、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律の整備に関する法律案（医療・介護制度改革の一括法案）が平成26年6月18日に成立し、25日に公布されました。これに伴い、日本診療放射線技師会は平成26年度も昨年度に引き続き各県で静脈注射（針刺しを除く）講習会を開催いたします。静岡県では下記のとおりです。

### 記

【日 時】 平成26年9月7日

【場 所】 中東遠総合医療センター 3F大会議室

〒433-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1-1

【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。（8月24日まで受付中）  
(JART情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です。)

### 【内 容】

9:30～	受付開始
9:50～	開講式
10:00～10:45	静脈注射に関わる診療放射線技師の法的責任
10:45～11:45	静脈注射と感染管理
12:45～13:30	薬剤(造影剤)に関する知識・造影剤の基礎知識
13:30～14:30	合併症への対応
14:45～16:15	抜針の実際 ・シミュレーターを用いた演習
16:20～16:45	臨床技術能力検定
16:50～	修了式



### 車をご利用の場合

名古屋方面・東京方面から  
…東名高速 掛川IC. → 車で5分

### 鉄道をご利用の場合

JR 掛川駅下車

### バスをご利用の場合

南口を出て市内循環線にて11分100円

### 駐車場をご利用の場合

760台 駐車可能（無料）

生涯教育委員

# 会 告

## 『第62回 超音波部会研修会』

下記の通り、第62回超音波研修会を行います。多数の参加をお待ちしております。今回は症例発表会をメインとさせて頂きます。日頃の業務で経験した貴重な体験をこの機会に報告していただければ幸いです。

【日 時】 平成26年10月 4 日（土） 15：00～

【場 所】 （公社） 静岡県放射線技師会 事務所

静岡市葵区本通1丁目3番地5 フェリス本通り202号 tel 054-251-5954

【参加費】 1000円

【内 容】 14：30 受付開始

15：00 ～ 15：30

メーカー講演

最新の超音波診断装置

15：30 ～ 18：00

症例発表会

### 症例報告公募のお知らせ

今回は症例発表会と題して、広く会員の皆様に症例報告を公募いたします。

日頃の業務の中で得た、貴重な経験をこの場で報告して頂ければ幸いです。

応募については、メールによって受付します。

応募先 E-mail : shizuhogi\_us@yahoo.co.jp

office word 形式により 1 ページ分の抄録を添付してお送りください。

内容は、主訴、既往歴、血液検査、生化学検査など 超音波画像診断像、他の画像診断、結果、考察等を記載してください。また、症例についての分野は問いません。

決して敷居は高くありませんので、若手のステップアップのためや自分自身の向上の為にも是非応募してください。

応募締め切りは、9月20日まで。

# 会 告

## 『第1回 静岡県MRI技術研究会』

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会は、本年度より研究会の名称を変え、さらに、磁気共鳴専門技術者更新のための研究会として機構より認定され活動をすることとなりました。今後も地域に根付いた研究会として皆様と共に歩んでいきたいと思っております。ご協力とご支援をお願い申し上げます。さて、第1回静岡県MRI技術研究会を下記内容にて開催いたしたく、ご案内申し上げます。ご多用中の事と存じますが、是非、ご出席戴きますようお願い申し上げます。

開催日時：2014年10月25日（土）13：00～17：00

開催会場：静岡県教育会館 4F B会議室 12：30～受付

情報提供：「MRI装置の最新情報について」13：00～13：30

演者：東芝メディカル株式会社

基礎講演：「MRI装置の安全性について」13：30～14：30

演者：有谷 航 先生 浜松医療センター

大川 剛史先生 静岡県立総合病院

休憩14：30～14：40

技術講演①：「前立腺・膀胱のMRI撮像技術」14：40～15：10

技術講演②：「婦人科骨盤MRI撮像技術」15：10～15：40

休憩15：40～15：50

教育講演：「婦人科領域の画像診断」15：50～16：50

会場整理費：1000円

当研究会は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会です。 認定ポイント：5点

# 会 告

## 『第7回 中部放射線医療技術学術大会(CCRT)』

第49回 公益社団法人 日本放射線技術学会中部部会学術大会長  
小山 修司（名古屋大学）

第7回 中部放射線医療技術学術大会を、名古屋市の国際会議場にて下記の日程で開催します。多くの会員の皆様には、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 記

【日 時】 平成26年11月1日（土）・2日（日）

【場 所】 名古屋国際会議場（名古屋市熱田区熱田西町1番1号）

【大会テーマ】

すべては未来のために - Breakthrough in Radiation Technology -

【参 加 費】 未定

【内 容】 未定

【演題応募要項】

・演題申込資格

発表者は、日本放射線技術学会正会員および学生会員、日本診療放射線技師会員、中日本地域の技師会員に限ります。

非会員の方が発表される場合には、あらかじめいずれかの団体への会員登録が必要です。

・演題申込方法

演題登録は、UMIN オンライン演題登録システムを使用して行います。

第7回中部放射線医療技術学術大会 HP (<http://www.aart.or.jp/2014ccrt/>) の『演題登録』からオンライン登録ページへお進み下さい。

登録時の注意事項等、演題登録画面上に記載しておりますので、ご参照下さい。

・募集期間

平成26年7月1日（火）～平成26年8月28日（木）

・発表抄録

発表抄録は、400字以内です。図表は使用せず、目的・方法・結果・考察の項目ごと、わかりやすく記述して下さい。

・演題の採否、発表日時

応募演題の採否、発表日時の決定は、プログラム委員会を経て大会長に一任させていただきます。演題採用通知は、10月初旬ごろまでにメールにて通知いたします。

・演題登録に関する問い合わせ

第7回中部放射線医療技術学術大会事務局プログラム委員

endai@aart.or.jp

# 会 告

## 『秋期公開講演会－胃がん検診受診率向上を目指して－』

静岡県放射線技師会は公益事業としてがん撲滅、そしてがん検診受診率向上を目指し、県民の皆様が安心して健康で過ごせますように健康増進を推進するため、また、放射線技師の資質向上を目的とした講演会の企画をしています。

昨年は肺がんに関する講演を行いましたが、今年は胃がんをテーマとし、『秋期公開講演会－胃がん検診受診率向上を目指して－』と題して、講演会を企画しています。

詳細等はまだ決まっていませんが、多くの方々に興味を持ってもらえる、参加したくなるような内容を企画できればと思っています。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

【日 時】平成26年11月23日（日）14：00～16：15頃

【場 所】：静岡県産業経済会館第1会議室

住所：〒420-0853静岡市葵区追手町44-1

電話：054-273-4330

【内 容】未定（決まり次第ホームページ、会誌等でお知らせいたします。）

\*技師会 I Dカードをお持ちください

# 会 告

## 『平成26年度 原子力災害緊急時対策研修会』

静岡県放射線技師会は、静岡県地域防災計画（原子力対策編）の協力団体に指定されています。研修内容は原子力編では、GM管取扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習。また、公益事業としての取り組みで公開講演を予定しております。

貴重な実技講習の機会です。県民の安心・安全を守る為、また生涯教育もかねてご参加ください。

### 記

【日 時】 平成26年11月29日(土) 13:30~17:00

【場 所】 静岡県立総合病院 つつじホール（6階）

静岡市葵区北安東4-27-1 TEL 054-247-6111

【主 催】 静岡県放射線技師会：災害対策委員会・企画調査委員会

・管理士部会（放射線技師のためのセミナー）

【後 援】 静岡県健康福祉部、(公社)静岡県放射線技師会

【内 容】

### = = プログラム = =

13:30~ 受付

14:00~15:10 【静岡県における東海地震対策】（予定）

(10分休憩)

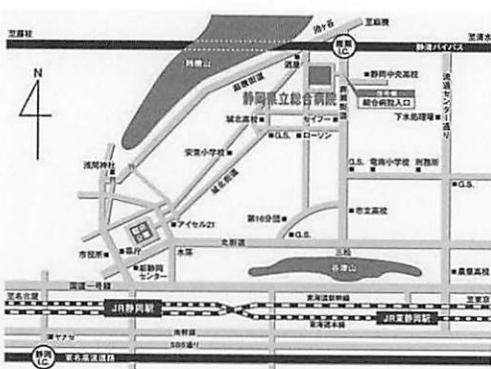
15:20~15:50 【GMサーベイメーターの原理と取扱い】 日立アロカ株式会社

15:50~17:00 【原子力災害におけるスクリーニング実習】

<協力> 中部電力 浜岡原子力発電所 放射線安全課 (公社)静岡県放射線技師会

\*技師会員はIDカードをご持参ください。

\*研修会終了後に原子力災害時緊急対策研修会受講表を渡します。



### JR静岡駅（北口）前

- : 20番乗り場：唐瀬線(三松経由唐瀬営業所行)  
→「県立 総 合病院入口」下車（徒歩3分）
- : 20番乗り場：上足洗線（上足洗経由唐瀬営業所行）→「県立総合病院」下車
- : 10番乗り場：県立病院高松線  
(県立総合病院行・唐瀬営業所行) →  
「県立総合病院」・「県立総合病院入口」下車  
タクシーをご利用の場合：JR静岡駅前より15分



# おめでとうございます

公益社団法人 静岡県放射線技師会 永年勤続表彰者

## 《県知事表彰》

伊藤 雅夫 西遠クリニック

## 《功労賞》

廣瀬 信雄 (公財)沼津中央病院

## 《永年勤続35年表彰》

中島 英之 自宅  
藤田 孝 (公財)結核予防会静岡県支部  
金刺 明男 自宅  
佐藤 信之 静岡県立総合病院  
大場 繁雄 国府台整形外科  
鈴木 久士 市立御前崎総合病院

原 保和 順天堂静岡病院  
辰巳 勝之 市立島田市民病院  
望月 守 静岡県立総合病院  
石向田鶴男 静岡市立静岡病院  
永井 靖郎 山名診療所  
竹田 浩康 浜松医科大学医学部附属病院

## 《永年勤続20年表彰》

田沢 範康 聖隸沼津病院  
岡田 和教 共立蒲原総合病院  
杉山 正則 順天堂静岡病院  
小林 陸 沼津市立病院  
渡邊 敏成 J A静岡厚生連 静岡厚生病院  
幸田 明久 焼津市立総合病院  
吉村 浩一 静岡赤十字病院  
望月 良倫 東新田福地診療院  
村松 伸彦 藤枝平成記念病院  
藤田 智幸 さなるサンクリニック  
永田 剛 市立御前崎総合病院  
榛葉 豊 中東遠総合医療センター

谷本 清美 共立蒲原総合病院  
大多和純一 國際医療福祉大学熱海病院  
安藤 哲人 小松クリニック  
石川 文彦 富士宮市立病院  
和田 陽子 コミュニティホスピタル甲賀病院  
井上 義久 静岡赤十字病院  
相澤 一雅 静岡赤十字病院  
竹内 貴子 藤枝健診センター  
川合 宏明 J A静岡厚生連 遠州病院  
佐藤 慎祐 医療法人社団綾和会 浜松南病院  
杉村 正義 総合病院聖隸浜松病院  
杉森 雅志 浜松医療センター

## 公益社団法人 日本診療放射線技師会

### 《永年勤続50年表彰》

杉山 高 浜松南病院  
仲 一彦 自宅

### 《永年勤続30年表彰》

加藤 吉隆 (公財)静岡県予防医学協会  
井出 宣孝 富士市立中央病院  
牧野 雅好 静岡市立清水病院  
奥川 令 静岡済生会総合病院

### 《役員感謝状》

森 佳久 市立島田市民病院  
畠 利浩 市立島田市民病院  
西谷 収利 焼津市立総合病院  
島田 洋一 静岡赤十字病院  
児玉 吉彦 JA静岡厚生連静岡厚生病院  
秋山 洋 伊豆保健医療センター  
長屋 重幸 聖隸三方原病院  
飯塚 知幸 JA静岡厚生連 清水厚生病院  
天野 守計 藤枝市立総合病院  
倉田 富雄 富士市立中央病院

三浦 孝夫 静岡県立総合病院  
片山 昇 社会保険 桜ヶ丘総合病院  
佐々木幹晴 JA静岡厚生連遠州病院  
鈴木 博寿 三島社会保険病院  
寺田 理希 磐田市立総合病院  
田中 陸生 聖隸浜松病院  
片岡 純也 聖隸浜松病院  
池谷 幸一 富士市立中央病院  
鈴木 久士 御前崎市立総合病院

**公益社団法人 静岡県放射線技師会 新役員名簿**  
**(任期:平成26年5月26日~平成28年5月29日)**

会	長	和田 健	浜松南病院
副 会 長	(委員会・企画)	望月 茂	沼津市立病院
副 会 長	(会 務)	八木 秀 視	JA 静岡厚生連 静岡厚生病院
副 会 長	(学 術)	山本 英 雄	聖隸三方原病院
理 事	(常任・総務)	酒井 公 敏	静岡済生会総合病院
理 事	(常任・総務庶務)	鈴木 健一郎	JA 静岡厚生連 清水厚生病院
理 事	(常任・庶務一般)	赤池 正 久	静岡市医師会検診センター
理 事	(常任・庶務会員管理)	柴田 純 一	医療法人沖縄徳洲会 植原総合病院
理 事	(常任・会計)	荒井 準	中東遠総合医療センター
理 事	(常任・編集)	蒔田 鎮 靖	藤枝市立総合病院
理 事	(常任・広報)	市川 和 秀	共立蒲原総合病院
理 事	(組織・東部)	田中 章	沼津市立病院
理 事	(組織・中部)	望月 浩 正	静岡市立清水病院
理 事	(組織・西部)	片山 善 博	聖隸健康診断センター
理 事	(学 術)	竹田 守	浜松医療センター
理 事	(企画調査)	佐々木 英 治	NTT 東日本伊豆病院
超 音 波 部	会 長	奥川 令 令	静岡済生会総合病院
M R I 部	会 長	大川 剛 史	静岡県立総合病院
ア ン ギ オ 部	会 長	松井 隆 之	聖隸浜松病院
乳 腺 画 像 部	会 長	斎藤 忍	聖隸予防検診センター
管 理 士 部	会 長	池谷 正 治	市立島田市民病院
表 彰 審 査 委 員 長		小池 澄 男	自 宅
選 挙 管 理 委 員 長		玉田 宏 一	富士宮市立病院
事 務 所 運 営 委 員 長		山本 英 雄	聖隸三方原病院
情 報 管 理 委 員 長		市川 和 秀	共立蒲原総合病院
生 涯 教 育 委 員 長		曾我 隆 正	富士脳障害研究所付属病院
医 療 安 全 推 進 委 員 長		田沢 範 康	聖隸沼津病院
災 害 対 策 委 員 長		望月 茂	沼津市立病院
監	事	窪野 久 行	JA 静岡厚生連 遠州病院
監	事	近藤 仁	静岡市立静岡病院
事 務 担 当 職 員		石川 美代子	

# 新役員挨拶

## 新役員に一層のご支援お願いいたします

### 会長

和田 健  
医療法人社団綾和会 浜松南病院



平成16年度から会長として会務を務めてきました。思い起こせば、技師会事務所購入の積立を開始したのも会長に就任した平成16年度です。平成22年度第4回理事会で新技師会事務所の購入が承認され、その後、移転などに追われ今日に至っています。

団塊世代の退職や疲弊した労働環境などにより会員数も年々減少傾向の中、公益社団法人への移行や技師会創立65周年記念式典、第5回中部放射線医療技術学術大会大會長そして東海四県放射線技師学術大会は3回大會長を経験させて頂きました。

今期最後の会長職として本会の目的であります診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、県民の健康維持増進に寄与するよう最後の汗を流す所存です。会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 副会長（委員長・企画） 災害対策委員長

望月 茂  
沼津市立病院



この度、副会長並び災害対策委員長を務めさせて頂く事となりました。沼津市立病院の望月と申します。以前8年間技師会の仕事をさせてもらっていましたが今は、公益社団法人となり3年目を迎え事業も以前に比べ様変わりしています。その事業目的は県民の健康を維持するという事と会員皆様方の放射線技術の技術向上であります。また、会員の皆様や未入会の技師さんの関心を引く企画をすることではないかと考えます。

技師会活動は久しぶりの事ではありますが、公益社団法人の副会長として会の事業が円滑に進むよう微力ながら任期中は頑張っていきたいと思っております。皆様方のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

### 副会長（会務）

八木 秀視  
JA静岡厚生連 静岡厚生病院



今年度より、副会長を務めさせて頂くことになりました、JA静岡厚生連静岡厚生病院の八木です。20年前に幹事、理事を8年ほど勤めましたが、このたび再度登板となりました。公益法人として2年が経過し、会の発展のため、頑張っていきたいと思いますが、会の発展において一番必要なことは、われわれ役員の頑張りではなく、会員の協力が不可欠です。

皆様のご協力もよろしくお願ひいたします。

### 副会長（学術）

山本 英雄  
聖隸三方原病院



この度、副会長並びに事務所管理運営委員長を務めさせて頂く事になりました。

3期目となります。振り返れば行事をこなししていくだけで手一杯で、会員のニーズに答えていくのか、会員増加につながっているのか、運営体制の問題など解決できていないものが山積みのようです。今年度から会費値下げにより財政面で厳しい状況となります。新人の加入はもちろん、未加入技師へのアプローチを考えて会員増を図りたいと思います。執行部メンバーも大幅に入れ替わり不安もありますが、新たに生まれかわったつもりで、会員にわかりやすい技師会運営に取り組んでいきます。

会員の皆様の協力がなければ成り立ちません。2年間、宜しくお願ひ致します。

### 理事（常任・総務）

酒井 公敏  
静岡済生会総合病院



この度、総務を勤めさせていただくことになりました静岡済生会総合病院の酒井と申します。今まで技師会の活動はほとんど経験がありません。

常任理事という重責をお受けすることになり、毎日戸惑つばかりおります。技師会は外から眺めているもので、まさか、運営する側に回るとは思いませんでした。申し送りを受けるに従い、総務の業務量の多さに呆然としています。

何から始めればよいのか、次に何をすべきかが分からず、困惑している毎日です。

2年間の経験を通じてたくさんの方々が技師会のために一所懸命尽力されていることを後輩の皆さんに伝えなければと思っています。微力ながら頑張りますのでご指導の程宜しくお願ひいたします。

### 理事（常任・総務庶務）

鈴木 健一郎  
JA静岡厚生連 清水厚生病院



この度、常任理事（総務・庶務）を務めさせていただきましたJA静岡厚生連清水厚生病院の鈴木と申します。今まで技師会の業務には全く携わったことがなく、今回このような大役を仰せつかり大変困惑しております。業務内容も今まで経験したことのないようなことばかりで果たして自分にどれだけの事が出来るのか心配です。前任者の方や現常任理事の方々の協力を得ながら任期を全うしたいと思っております。これから大変御迷惑をおかけすることになると思いますが、精一杯頑張りますので宜しくお願ひします。

### 理事（常任・庶務一般）

赤池 正久  
静岡市医師会検診センター



26年度27年度庶務一般を担当させていただく、静岡市静岡医師会健診センター赤池です。定年退職し1年再就職の場で技師会常任理事の職務を引き受けることになりました。前任者の片山様や他理事の協力と指導を仰ぎながら与えられた責務を遂行していくつもりです。宜しくお願ひいたします。

### 理事（常任・庶務会員管理）

柴田 純一  
医療法人沖縄徳洲会 棚原総合病院



皆様、初めまして。

平成26年5月25日より2年間常任理事（庶務会員管理）業務に就きます棚原総合病院の柴田純一と申します。

簡単に自己紹介させて頂きます。

神奈川県相模原市に在ります北里大学病院で6年勤め、結婚を機に静岡に来て3年が経ちました。

世間知らずな自分を温かく迎え入れて下さった、勤務先の上司、諸先輩をはじめ各技師会役員の皆様、そして家族に支えられながら日々過ごしております。

今後、常任理事の業務を通じたくさんの会員の方々と出会える事を楽しみに毎日を努めていきたいと思います。

2年間、どうぞよろしくお願い致します。

### 理事（常任・会計）

荒井 準  
中東遠総合医療センター



この度、常任理事・会計を担当させていただきました、中東遠総合医療センターの荒井と申します。以前アンギオ部会で大変お世話になりましたが、今回、十数年ぶりに役員として静岡県放射線技師会活動に参加させていただきます。会計業務は初めての経験ですが、前任者や諸先輩のご指導をいただき、県技師会の運営や公益法人の会計処理について理解し、円滑な技師会運営のお手伝いができるよう努力していきたいと思います。皆様方のご指導とご協力をお願い申し上げます。

### 理事（常任・編集）

蒔田 鎮靖  
藤枝市立総合病院



常任理事・編集、情報管理委員を担当させていただきます。いつの日か、私も理事を担当する日が来るとは思っていましたが、予想よりだいぶ早く機会をいただきました。

SHIZUOKA JOURNALの編集長が主な役割です。理事を引き受けたからには会員の皆様に有意義な情報を正確にお伝えできるよう、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

### 理事（常任・福厚広報）

市川 和秀  
共立蒲原総合病院



今年度より、広報担当理事を務めさせていただきます、共立蒲原総合病院の市川と申します。以前、中部地区会長として組織理事を務めていた以来の技師会役員となります。

さて、静岡県技師会は2年前に公益社団法人となりました。このことは、以前にも増して、県民の健康増進をサポートするという静岡県放射線技師会の役割が大きくなつたのだと思います。広報担当として、なにができるかを考えながら、気を引き締めて会務に携わりたいと思います。

至らぬ点も多々あるかと思いますが、がんばって会務を遂行していきたいと思いますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

### 理事（組織・東部）

田中 章  
沼津市立病院



これから2年間、東部地区選出組織理事を務めさせて頂きます沼津市立病院の田中です。50の歳を迎える年に、このような大役に就く事となりました。これを良い機会と捉え、自分自身も成長していきたいと思います。

技師会を盛り上げ、会員数を増やす為にも、魅力ある技師会になるよう微力ながら努力していきたいと思います。

経験豊富な先輩の方々にいろいろと教えていただきながら、全力で頑張りたいと思います。皆様どうぞご協力の程、よろしくお願ひします。

### 理事（組織・中部）

望月 浩正  
静岡市立清水病院



中部地区から組織理事に選出されました静岡市立清水病院の望月浩正です。

過去に技師会の地区幹事やジャーナルの編集などには携わってきましたが、今回このような大役は初めてで、正直不安で今までよりも大変な任務だと今更ながら感じています。

慣れない会務でわからないことも多々あるとは思いますが、先輩方にご意見を訊きながら任期を務めたいと思います。

微力ながら、中部地区の代表として会員及び他の役員の皆様にご迷惑をかけないよう頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

### 理事（組織・西部）

片山 善博  
聖隸健康診断センター



会員の皆様こんにちは。西部地区の組織理事を務めさせていただきました聖隸健康診断センターの片山です。

昨今は医療の高度化、効率化に対応し、かつ安全な医療を提供していくためにはコメディカルの業務範囲を拡大し、互いに連携し合う必要があると言われています。我々診療放射線技師も「抜針・チューブの抜去」や「読影の補助」など、特に医師や看護師とそれぞれの専門性を最大限に発揮できる「チーム医療の推進」がキーワードになるでしょう。

会員の皆さまが「チーム医療」を推進・実践する中で、少しでもお役に立てるように頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

### 理事（学術）

竹田 守  
浜松医療センター



この度、学術理事として学術関係の企画運営を務めさせていただきます浜松医療センターの竹田です。

和田会長の浜松医療センター在職時代にはお世話になり、再び会長の下で県技師会の仕事をさせていただこととなり光栄に思います。県技師会の仕事は初めてとなります、会員のみなさまの望んでいただける内容を企画し、多くの方に参加していただけるよう努力していきます。みなさまのご協力により活気あるものになりますよう、よろしくお願ひいたします。

### 理事（企画調査）

佐々木 英治  
NTT東日本伊豆病院



この度、企画調査担当理事に任命されました。NTT東日本伊豆病院の佐々木です。

今まで、会員として講演会や学術発表会に参加しており、その時に準備運営される理事は大変だと客観的に見ていました。そんな自分が初めて県技師会の理事として仕事することになり、自分に割り当てられた業務がこなせていくのか、他の理事にご迷惑をおかけしないか不安でいっぱいです。今まで多くの先輩達が作り上げてきた技師会を、しっかりと継承し少しでも発展できるように、他の理事さんのお力を借りながら頑張りたいと思っています。企画調査では読影業務に関する

研修会や現状の調査を行い、会員皆様の少しでもお役に立てるよう努めて参ります。これから2年間ご協力ご支援よろしくお願ひいたします。

#### 超音波部会長

奥川 令  
静岡済生会総合病院



超音波部会は設立20周年という節目の時期を迎えることとなりました。この様な時期に部会長を勤めるということは、ある意味で光榮なことかもしれません。尽きましては諸先輩方の培った部会の歴史を尊重しつつ、若い人材の育成の場となれるような魅力ある部会活動を行いたいと思います。まだまだ若輩者ゆえ至らぬ点があると思いますがよろしくお願ひします。

#### MRI部会長

大川 剛史  
静岡県立総合病院



この度、MRI部会長を務めさせていただくことになりました静岡県立総合病院の大川剛史と申します。近年、MRI装置の発展が目覚ましく、施設間で使用できるシーケンス等が異なり、どのような視点で研究会を実施していくのか非常に難しくなっておりまます。研究会としては、基礎と臨床ということで、経験が浅い方でも参加でき、また、エキスパートの方でも満足のいく研究会を目指していきたいと考えております。研究会が皆様の少しでもお役に立てるよう努力していきますので、ご指導の程宜しくお願ひいたします。

#### アンギオ部会長

松井 隆之  
聖隸浜松病院



今期よりアンギオ部会の部会長を担当させていただきます聖隸浜松病院の松井隆之と申します。血管造影はチーム医療で治療に当たります。チームの一員を担う診療放射線技師も専門分野の知識・技術を発揮しなければ良い医療は提供できません。

アンギオ部会では各分野の知識・技術等を情報提供していくと共に各施設での業務を共有しスタッフのレベルアップにつなげていければと考えております。よろしくお願ひ致します。

#### 乳腺画像部会長

斎藤 忍  
聖隸予防検診センター



今期も引き続き、乳腺画像部会部会長を務めさせて頂くことになりました、聖隸予防検診センターの斎藤忍と申します。

今期も前期同様研修会などを開催し、マンモグラフィを中心とした乳腺画像全般に関する知識が得られる機会を提供できるよう、努めていきたいと思っております。

技師会委員の皆様と質を高めていけるような企画をしていきたいと考えておりますので、ご意見などいただけるとありがたいです。

今後も乳腺画像部会へのご協力をよろしくお願ひ致します。

#### 管理士部会長

池谷 正治  
市立島田市民病院



前回、一期（二年間）管理士部会役員としてお世話になりましたが、この度、管理士部会長を務めさせて頂くことになりました、市立島田市民病院の池谷と申します。歴代の部会長と違い、力不足であることは十分承知しておりますが、皆様のお力を借りしつつ、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。管理士部会では、「放射線技師のためのセミナー」の開催や「ふれあい広場」への参加など様々な活動を行っておりますが、自分の長所を生かして少しでも盛り上げて行けたらと思います。

#### 表彰審査委員長

小池 澄男  
自宅



私は、表彰審査委員長に指名されました小池澄男と申します。今期もよろしくお願ひいたします。公益社団法人静岡県放射線技師会も平成26年度新役員でスタートしました。私は、この役をいただいてから10年経ちました。その間、会長をはじめ役員の皆様のご協力によりまして、なんとか職務を果たすことが出来ました。ここにお礼申し上げます。また最近、歳のせい気力が失せていくようです。皆様にはご迷惑をおかけするかと思いますがご助力ください。

### 選挙管理委員長

玉田 宏一  
富士宮市立病院



今期より選挙管理委員長を務めさせて頂きます富士宮市立病院の玉田です。昨期は組織理事を務めさせて頂き、技師会の運営について多少は理解できたと思います。静岡県放射線技師会の発展に少しでも貢献できるよう、選挙に関する業務を全うしていく所存でありますので、会員の皆様のご協力の程よろしくお願ひいたします。

### 情報管理委員長

市川 和秀  
共立蒲原総合病院



本年度より、情報管理委員長を務めさせていただきます、共立蒲原総合病院の市川と申します。本年度より常任理事から情報管理委員長を選出することになったため、2年間、広報理事と兼務いたします。また、副委員長として、庶務会員管理理事の柴田様が選出されました。

なお、前委員長の富士市立中央病院、池谷様には、長らく情報管理委員長として、ホームページやインターネット等の構築にご尽力いただきましたこと感謝いたします。

今後は、前委員長の池谷様、柴田様のサポート受けながら、会員や役員が使いやすく、また、県民にアピールできるような技師会ホームページを作っていくたいと思いますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

### 生涯教育委員長

曾我 隆正  
富士脳障害研究所附属病院



今年度から前任の藤枝市立総合病院の天野守計さんから受け継ぎ、生涯教育委員長の大役を仰せつかりました富士脳障害研究所附属病院の曾我隆正と申します。

基本的な活動といたしましては、フレッシャーズセミナー、静脈注射（針刺しを除く）講習会、中日本地域における基礎技術講習会（今年度はMRI検査が担当となっております）の開催です。この3つの活動を軸に、1人でも多くの会員の皆様に受講していただけるように企画、運営を行っていきたいと思います。

まだわからないことが多いですが、不安でいっぱいではありますが、魅力ある講習会を開催していけるように努力いたしますのでよろしくお願い致します。

### 医療安全推進委員長

田沢 篤康  
聖隸沼津病院



この度、医療安全推進委員会を担当させて頂く事になりました聖隸沼津病院の田沢です。

2年間副会長を務め、ボロが出る前に退けてホップしていた矢先に前任の鈴木委員長より依頼を頂きました。

医療安全に関して特に深い知識がありませんが、常に危機意識を持って業務を行っているつもりであります。

静岡県放射線技師会という横の繋がりを十分に活かし、情報共有できたらいいなあと思っています。

三代目委員長としてこの医療安全推進委員会、そして静岡県放射線技師会を盛り上げていきたいと思います。

皆様のご支援とご協力、お願い致します。

## 監 事

窪野 久行  
JA静岡厚生連 遠州病院



今年度より監事に任命されました、JA静岡厚生連遠州病院の窪野です。

県技師会の関わりとしては、以前、理事を勤めさせて頂きました。しかし、監事は初めての職務になりますので、分からぬ事ばかりで至らない事も多々あるかと思います。近藤監事から色々と教えを受けながら、任務を果たして行きたいと思います。会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

## 監 事

近藤 仁  
静岡市立静岡病院



引き続き監事を担当させていただきます静岡市立静岡病院の近藤です。

静岡県放射線技師会が公益法人になって、初めての県の監査に立ち会わせていただいてとても勉強になりました。これからは監査で指摘された事項を検討して今後に生かしていきたいと思っています。

県民の皆様に向けての活動や会員数の増加を目指して皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

# 静岡県放射線技師会 委員会・部会名簿

(任期: 平成26年5月25日~平成28年5月29日)

## 【編集委員会】

蒔田 鎮靖 藤枝市立総合病院  
杉山 大介 SBS静岡健康増進センター  
三輪 則夫 静岡県産業労働福祉協会  
島田 洋一 静岡赤十字病院  
赤池 正久 静岡市静岡医師会検診センター  
市川 秀和 共立蒲原総合病院

## 【選挙管理委員会】

玉田 宏一 富士宮市立病院  
河合 宏明 JA静岡厚生連 遠州病院  
深津 真吾 聖隸三方原病院  
増田 秀道 静岡市立静岡病院  
常葉 勇介 静岡市立清水病院  
滝口 昇吾 NTT東日本伊豆病院

## 【学術委員会】

竹田 守 浜松医療センター  
利 旭央 富士宮市立病院  
石田眞貴廣 静岡済生会総合病院  
鈴木 純一 聖隸浜松病院  
有谷 航 浜松医療センター  
春田 孝博 中東遠総合医療センター  
天野 宜委 磐田市立総合病院  
澤元日出也 静岡赤十字病院  
松井 隆之 聖隸浜松病院

## 【事務所管理運営委員会】

山本 英雄 聖隸三方原病院  
田中 章 沼津市立病院  
望月 浩正 静岡市立清水病院  
片山 善博 聖隸健康診断センター  
酒井 公敏 静岡済生会総合病院

## 【企画調査委員会】

佐々木英治 NTT東日本伊豆病院  
田中 章 沼津市立病院  
前林 晴也 富士宮市立病院  
大瀧 篤志 静岡市立清水病院  
望月 浩正 静岡市立清水病院  
山村 楠明 JA静岡厚生連 遠州病院  
鈴木 康章 中東遠総合医療センター

## 【情報管理委員会】

市川 和秀 共立蒲原総合病院  
柴田 純一 医療法人沖縄徳洲会 横原総合病院  
池谷 幸一 富士市立中央病院  
蒔田 鎕靖 藤枝市立総合病院  
赤池 正久 静岡市静岡医師会検診センター  
鈴木健一郎 JA静岡厚生連 清水厚生病院

## 【生涯教育委員会】

曾我 隆正 富士脳障害研究所付属病院  
天野 守計 藤枝市立総合病院  
奥川 令 静岡済生会総合病院  
畠中 貴台 中東遠総合医療センター

## 【表彰審査委員会】

小池 澄男 自宅  
川守 剛靖 JCHO 桜ヶ丘総合病院  
橋本 和明 国際医療福祉大学付属熱海病院  
清水 正義 自宅

### 【医療安全推進委員会】

田沢 範康	聖隸沼津病院
神田 直樹	富士市立中央病院
青島 満	焼津市立病院
望月 浩正	静岡市立清水病院
鈴木 久士	市立御前崎総合病院

### 【アンギオ部会】

松井 隆之	聖隸浜松病院
駒場 潤	浜松医療センター
中山 修	中東遠総合医療センター
川島 和記	静岡県立総合病院
山内 紘作	国際医療福祉大学付属熱海病院
井出 敦之	富士宮市立病院

### 【災害対策委員会】

望月 茂	沼津市立病院
田沢 範康	聖隸沼津病院
望月 浩正	静岡市立清水病院
望月 尚子	JCHO 桜ヶ丘病院
細田 友行	磐田市立総合病院
鈴木 康章	中東遠総合医療センター
池谷 正治	市立島田市民病院
根岸 賢哉	沼津市立病院

### 【乳腺画像部会】

斎藤 忍	聖隸予防検診センター
河合 陽子	聖隸三方原病院
井上 忠之	菊川市立総合病院
天野 宜委	磐田市立総合病院
内田 千絵	浜松労災病院
神谷 有希	中東遠総合医療センター
平野 裕子	聖隸沼津病院
熊谷 暢子	藤枝市立総合病院

### 【超音波部会】

奥川 令	静岡済生会総合病院
中村 元哉	浜松南病院
溝口 賢哉	藤枝市立総合病院
廣澤 和美	市立島田市民病院
春田 孝博	中東遠総合医療センター
原崎 みか	菊川市立総合病院
澤口 信孝	富士市立中央病院
岡村 将弥	NTT東日本伊豆病院
斎藤 友紀	JCHO 桜ヶ丘病院
早坂みさを	静岡県立総合病院

### 【管理士部会】

池谷 正治	市立島田市民病院
根岸 賢哉	沼津市立病院
松谷 季能	聖隸予防検診センター
清 広和	富士宮市立病院
神田 直樹	富士市立中央病院
青島 満	焼津市立総合病院
澤元日出也	静岡赤十字病院
糟谷 信貴	中東遠総合医療センター
鈴木 康太	聖隸三方原病院

### 【MRI部会】

大川 剛史	静岡県立総合病院
小林 瞳	沼津市立病院
坪内 秀生	聖隸沼津病院
内田 知宏	JA静岡厚生連 遠州病院
有谷 航	浜松医療センター
柴田 純一	医療法人沖縄徳洲会 棕原総合病院
黒田 貴憲	中東遠総合医療センター

\* 太字は部会長

# 平成25年度 静岡県放射線技師研修会 報告

平成26年3月15日(土)  
静岡県産業経済会館 第1会議室

平成25年度静岡県放射線技師研修会を、平成26年3月15日(土)14:30~18:10に静岡県産業経済会館第1会議室において開催しました。

今回は、「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の中で、診療放射線技師の更なる役割として(1)画像診断における読影の補助を行うこと(2)放射線検査等に関する説明・相談を行うことが求められたことから、(公社)静岡県放射線技師会独自の取り組みとして、「読影補助業務を考える -上部消化管編-」をテーマに以下の内容で開催しました。

当日は、東中西部各地から会員・非会員を合わせて61名が参加し、長時間の研修会でしたが熱心に報告・講演を聞いていました。

また、最後のシンポジウムでは、健診機関・総合病院・がんセンター各々の立場から実践している読影補助業務の報告があり、NPO日本消化器がん検診精度管理評価機構の立場からは、教育・指導体制についての話がありました。

## 1) ~アンケート調査報告~

静岡県における上部消化管検査読影補助の現状

\*「アンケート調査」は本誌Vol.23 No.3に掲載

## 2) 講演「バリウム検査における安全性情報」

株式会社 伏見製薬所 安倍由佳子先生

\*本号別頁に掲載



## 3) 特別講演「読影補助の定義と教育について」

(公財)早期胃癌検診協会 松本史樹先生

\*本号別頁に掲載

## 4) シンポジウム

### 「上部消化管検査における読影補助業務」

司会 浜松南病院 佐藤慎祐 会員

伊豆保健医療センター 秋山 洋 会員

演者 聖隸健康診断センター 村松晴仁 会員

藤枝市立総合病院 藤田鎮靖 会員

静岡がんセンター 伊藤宏明 会員

聖隸予防検診センター 平野昌弘 会員

\*本号別頁に掲載



(平成25年度企画調査理事：秋山 洋)

## お知らせ

特別講演をしていただいた松本先生から、当日使用したスライドのPDF版をいただきました。HPにUPできるかを検討しましたが、容量が多く難しい状態です。また、メール添付での配布も同様です。

CDにての配布となり、送料を含めた実費を負担していただくことになりますが、ご希望の方はメールでご連絡ください。

伊豆保健医療センター 秋山 洋

E-mail hospital-izu@poppy.ocn.ne.jp

# 肺がん検診エックス線撮影従事者講習会 報告

平成26年3月29日(土)

静岡県総合研修所もくせい会館2階 第5会議室

駿府公園の桜も見ごろとなる平成26年3月29日(土)に、静岡県対がん協会と静岡県放射線技師会の共催による肺がん検診エックス線撮影従事者講習会が静岡県総合研修所もくせい会館で行われました。

講習会は初めに当会の和田会長の挨拶の後、SBS静岡健康増進センター常任理事・所長の遠山和成先生による「がんで命を落とさないために」とのタイトルでご講演していただきました。遠山先生の基本理念は「自分の命は自分のものであっても自分だけのものではない」～地域に生き・地域に生かされ・地域に尽くす。であることを述べ講演されました。講演では、がんの早期発見はがん検診と危機察知能力(勘)のみと、がん検診の目的は死亡率を減らすことが目的で、早期がんを発見することではないとユーモラスをまじえながらお話され、がん検診50%の目標と意義では

- ① がん検診が50%を超えると早期がん発見率が急速に増加する。
- ② “がん”を身近に感じるようになり、“がん”的知識が大幅に広がる→検診の増加
- ③ 命の尊さを今までより知ることになり、命は自分のものだけではないという認識が広がる（国家の根源）
- ④ がん対策基本法により、はじめて個人の治療中心の概念から全国民への健康政策という概念に変わった

とのことでした。国別の全がん年次死亡率ではアメリカ・ヨーロッパでは減少あるいは横ばいだが日本は増加しているとの結果でした。また、日本の部位別がん死亡率では女性は大腸がんが一位で男性は肺がんでした。がんを誘発する因子は肥

満・飲酒・たばこ。そして糖尿病によるがん罹患リスクが高いことも報告されました。最後に総括として

- ① がんに罹患しても命を落とさないためには“とにかく早期発見です”
- ② 早期発見のためにはがん検診を受けるか勘を働かせる以外に手段はありません。  
と締めくくられました。

遠山先生には非常にやさしく気持ちがこもった講演をしていただき感謝いたします。ただ、技師会員8名、医師会会員8名と参加者が少なかったことは非常に残念です。技師会も広報等を工夫していくことを感じさせられました。

最後に、対がん協会の皆様方には準備・運営をして頂きありがとうございました。

(常任理事 三浦 孝夫)

# 第3回（公社）静岡県放射線技師会定時総会 報告 第19回 静岡県放射線技師学術大会

平成26年5月25日(日)  
静岡商工会議所会館5階ホール

平成26年5月25日（日）静岡駅近くの静岡商工会議所会館5階ホールにて、第3回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会と第19回静岡県放射線技師学術大会が開催されました。大会のテーマは「県民医療の向上に向けたチーム医療の推進」、参加人数は183名（東部：38名、中部：74名、西部：48名、非会員10名、賛助会員：12名、報道：1名）でした。天候にも恵まれ多数の参加者による活気に満ちた大会となりました。

公益社団法人となり3年目の総会の和田会長挨拶では、まず旧静岡県放射線技師会事務所の売却および再活用について説明がありました。次に平成26年度診療報酬改定の基本方針が、地域において地域医療ネットワークを構築し地域完結型の医療がうたわれている。そのためには医療従事者のマンパワーが必要でありチーム医療の推進に取り組む必要があるとお話しされました。



事では会場より“65周年事業の余剰金”についての質問があり、会長よりくわしい説明がありました。すべての議案は賛成多数で可決されました。

## ランチョンセミナー

今回のランチョンセミナーでは、前半を日立メディコ関信CT・MR営業課の市川真仁様から「各診療科における最先端アプリケーション～Beam SAT TOFの可能性について」、後半をフィリップスエレクトロニクスジャパンマーケティング本部の和泉勇紀様から「アンギオ装置の被ばく低減に関するフィリップスの最新技術」について講演していただきました。

前半の講演では、整形領域と頭頸部領域に関する最先端のMRアプリケーションについて紹介されました。数百μ秒のTEによる軟骨や韌帯の描出やBeam SATと呼ばれる局所励起技術による脳血流動態評価等について紹介されました。

後半の講演では、最新の血管造影装置について紹介されました。柔軟なフレームレート設定や画像処理の改良などにより被ばくが低減されたこと、またリアルタイムで線量を把握できるシステムについて紹介がされました。



表彰では、永年勤続表彰（35年：12名、20年：24名）、松本賞1名、役員感謝状19名が授与されました。

その後、報告に移り平成25年度事業報告および同附属明細書報告・監査報告が行われました。議

## 公開講演

公開講演では、聖隸健康診断センター保健看護管理部部長の鳥羽山睦子先生に、「職場からメンタルヘルス不調者を出さないために～職場で働く人々が元気になること～」と題してご講演していただきました。メンタルヘルスの現状から、メンタルヘルスケアの具体的な進め方、メンタル不調者への対応、自分を知ってストレスに強くなる対処方法まで、幅広くご紹介いただきました。参加者への問い合わせが多く、それぞれが自身の周辺環境について振り返りながら講演を聴いている様子でした。



## 研究発表

今回の演題数は18演題でした。放射線治療、核医学、MRI、超音波・骨密度、放射線管理・情報管理、X線撮影、X線CTの7つのセッションで各施設より研究発表・質疑応答が行われました。参加人数も多く、熱気あふれる学術大会となりました。今後も、各施設よりの有用な情報発信の場として、若手技師が研究発表に参加しやすい場として開催していきたいと思っています。

## 最後に

会場に足を運んでいただいた会員の皆様、本大会を企画・運営していただいた役員の皆様、大会をサポートしていただいた中部地区会の皆様に厚く御礼申し上げます。次年度は東部地区での開催となります。多数のみなさまの参加による盛大な大会になることを願っています。

(学術理事 浜松医療センター 竹田 守)

# 第74回（公社）日本診療放射線技師会定時総会 報告

平成26年6月7日(土)  
日経ホール

平成26年6月7日(土)午前11時～午後3時  
日経ホール(東京都)において第74回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催されました。当県からは、和田会長・田沢前副会長・森前副会長・片山前常任理事・西谷前常任理事・山本の6名が代議員として参加しました。

11時から総会が次第どおりはじまり、中澤会長の挨拶、平成25年度物故者37名への黙祷が行われました。

表彰委員会より功労賞(0名)、地域功労賞(10名)、永年勤続50年(21名)、永年勤続30年(323名)の報告並びに第29回日本診療放射線技師学術大会開催県島根県放射線技師会に感謝状が授与されました。

総会運営委員会より総会の成立(出席167名、委任状17名)が確認され、議長に渡邊光博(新潟)、肥合康弘(熊本)が選出され議事が進行しました。

午前中は報告事項として平成25年度事業報告、平成25年度決算報告は行われました。

12時から特別講演としてJIRA経済部会野口雄司先生による「平成26年度診療報酬改訂と新たな課題」の講演がありました。

午後からは、議案として

第1号議案：平成26年度事業計画(反対0、保留0、賛成176)

- ・東日本大震災に伴う被災地への復興と被災者に対する支援活動の継続
- ・読影補助業務の拡大に伴う全国統一の臨床研修の実施
- ・診療放射線技師法の第一次改正に向けた事業の展開
- ・診療報酬改訂に向けた事業の展開

- ・医療法第6条に基づいた広告のできる認定・専門技師制度構築事業の展開
- ・検査・治療依頼に対する疑義照会業務について周知を図る事業の展開
- ・管理者・ミドルマネジャー養成研修の実施
- ・第30回日本診療放射線技師学術大会の実施
- ・3年生診療放射線技師養成学部設立への反対行動(追加)が提案され承認された

第2号議案：平成26年度予算案(反対0、保留0、賛成176)

収入6億9522万1528円(流動資産繰越2億2582万1528円含む)、支出4億6940円とした。入会金収入(370万円)、会費収入3億8820万円を見込み、公益目的事業会計と法人会計に50:50の均等振り分けをした。これらが提案され承認されました。

平成26年度スローガン

「国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう」

第3号議案：平成26、27年度役員選出について  
定款27条並びに役員選任規程に基づき選挙は行われた。

幹事(3名)、外部理事(3名)、地域理事(8名)、については承認、全国理事(14名)については18人の立候補があり選任のための投票が行われました。

投票結果発表、その後、新しい理事により臨時理事会は開催され、会長：中澤靖夫(東京)副会長：小川清(埼玉)・佐野幹夫(愛知)の体制となることが報告されました。

# 第24回 乳腺画像部会研修会 報告 『デジタルマンモグラフィの基礎知識を身につけよう！』

平成26年6月14日(土)  
中東遠総合医療センター

乳腺画像部会では、デジタルマンモグラフィに関する勉強会が少ないことや、精度管理中央機構が実施するデジタル講習会の参加枠が決まっており、希望どおりの参加が難しいという現状から、『デジタルマンモグラフィの基礎知識を身につけよう！』と題し、デジタルマンモグラフィの基礎知識や品質管理など、デジタルに関する広い範囲での基礎講義を岐阜医療科学大学の篠原範充先生をお招きし、ご講演いただきました。

静岡県におけるデジタルシステムの普及率は高く、48名と多くの方が参加してくださったことから、関心の高さが伺えました。



## 講義内容は

- ・デジタルの基礎知識と管理のポイント
  - ・デジタル検出器の管理について
  - ・ファントムの配置方法について
  - ・デジタル表示系の管理について
- と、デジタルシステムの基本的な特徴と、検出器・表示系の管理など、デジタルに関わる全てのことをわかりやすく教えていただきました。

検出器の管理ではデジタルマンモグラフィ品質管理マニュアルが改正され、新たに加わった項目や、部分的に追加された項目を中心に、座学だけでなく、実際に使用するファントムを手に取り、配置方法や評価方法などを体験することができました。ファントムは高価なため、そろえることが

難しい施設が多いのが現状です。今回、それらに触れることができ、とても記憶に残るものになりました。また、高価なファントムがない場合でも各施設にあるファントムで実施できる簡易的な管理方法なども教えていただき、明日からすぐに実践できる内容でした。



表示系の管理では、液晶モニターの特徴から日常的な管理方法、モニター読影の方法など教えていただきました。ソフトコピー診断が普及しているなか、読影の注意点などは技師だけでなく医師にも伝えていく必要があると思いました。

篠原先生の講義は大変わかりやすく、これからデジタル講習会を受講される方、施設認定などを控えている方などにとって、とても有意義な研修会であったと思います。

乳腺画像部会ではこれからも、ニーズに合わせた勉強会を開催し、県内のマンモグラフィに携わる方の知識、技術の向上に努めていきたいと思います。

最後に、今回の研修会の開催に際してご尽力いただきました篠原先生はじめ、役員の皆様、会場を提供していただいた皆様、参加者の皆様、ありがとうございました。

乳腺画像部会 聖隸三方原病院  
河合陽子

# 第4回 フレッシャーズセミナー 報告

平成26年6月15日(日)  
静岡県放射線技師会事務所

平成26年6月15日に静岡県放射線技師会事務所にて、第4回フレッシャーズセミナーを開催しました。

本セミナーは日本診療放射線技師会が主催し各県放射線技師会において平成23年度より毎年開催されています。

日本診療放射線技師会は平成13年度、会員数が約32,000名であったのですが、ここ数年で団塊の世代の方々の退職や技師会離れが進み、現在では28,000名程度と減少してきています。これは静岡県においても同様です。この状況に歯止めをかけるべく、特に新人の方を対象とし、技師会活動の理解を深めていただくこと、また医療者として必要な基礎知識を身につけ、医療及び保健・福祉の向上に努めることを目的として開催しました。

当日は久方ぶりの梅雨の晴れ間のなか、参加人数は合計13名でそのうち新卒者は9名と今年度も当初の想定より伸び悩んでしまいました。

内容としては、入会案内、エチケット・マナー、医療安全、感染対策、胸部・気管支解剖でした。

入会案内は山本英雄副会長から職能団体としての日本診療放射線技師会の活動、静岡県放射線技師会の歩みや会員の動向及び会費についての説明があり、会員になって頂けるように働きかけました。

エチケット・マナー講座では身だしなみや挨拶など基本的なことを中心に、対応する技師の接遇によって与える印象が様々であることや、電話の対応、電子メールの書き方などの説明がされました。

医療安全講座では、基本的な考え方や医療安全の確立における今までの経緯を説明し、過去に報

道された事例の紹介、講師自身が体験した事例を紹介しました。身近な事例を知ることにより、医療事故の発生率や重篤度を抑制できるなどの説明がされました。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象を中心に、直接患者さんに触れるケースが多いために、自分がいかに清潔に保ち、患者さんからの感染を防ぐかの説明がされました。

胸部・気管支解剖講座は、気管支の走行や支配について画像を参考にしながら、気管支の分岐（10分枝）を体操仕立てにした気管支体操を交えて習得してもらいました。また、一般撮影とCT画像を用いて肺の機能や疾患についての説明がされました。

これらの内容は、勤続年数に関係なく知っておかなければならぬ事であり、常に必要な知識であります。しかし、今年度も参加者が少ないので現状でした。今後の運用については協議・検討し、もっと魅力ある内容で開催しなければならないと感じました。



生涯教育委員長 曾我 隆正

# 第61回 超音波部会研修会 及び 超音波部会設立20周年祝賀会 報告

平成26年6月21日(土)  
マイホテル竜宮(静岡市)

平成26年6月21日(土)にマイホテル竜宮(静岡市)にて、第61回超音波部会研修会と部会設立20周年記念祝賀会が開催された。超音波部会は平成6年にMRI部会とともに技師会の医用画像に関する知識の普及啓蒙のために設立されました。当時は技師法が改正され、超音波検査、MRI検査などが晴れて診療放射線技師の仕事として認められ、放射線を使わない領域の仕事もどんどん手掛けていこうと言う雰囲気の頃がありました。今では放射線技師が超音波検査やMRI検査を行うことが全く普通のこととなったことを考えますと、年月が過ぎたことをしみじみと感じます。

研修会は、メーカー講演から始まった。東芝メディカルシステムズ(株)、GEヘルスケアジャパン(株)、日立アロカメディカル(株)の順番で最新の超音波診断装置について紹介があった。今まで一度に3社の超音波診断装置の紹介と言う企画はなかったと思いますが、比べてみると改めて3社の装置の特徴が際立ったように思います。

特別講演1は、藤田保健衛生大学付属病院:高井洋二先生に『血管の超音波検査』と題してお話を頂いた。高井先生は超音波検査はもとより、血管造影検査にも精通しておられ、超音波検査、血管撮影検査を関連づけながら、わかり易く話された。頸動脈はもとより、下肢動脈、下肢静脈など症例を提示して話された。また、先生も役員として活躍されている血管診療技師(CVT技師)についても紹介された。

特別講演2は、この程日本診療放射線技師会副会長に就任された、刈谷豊田総合病院:佐野幹夫先生に『企業病院の職場教育について』と題してお話を頂いた。先生の病院は、トヨタ自動車系列の

民間病院として運営されているそうです。従いまして、病院とはいえてヨタ自動車の企業理念に基づいて運営されており、教育においても同様だそうです。患者という顧客に満足されること第一とした目的の元、そのためにすべき事を徹底的に教育するという事だそうです。私の勤務する病院も民間病院ですが、大いに見習うべきところがあります。

研修会を終えて、部会設立20周年祝賀会を行った。27名の出席者で盛大に行われた。初代部会長西尾孝司会員をはじめ、杉山高会員、秋山敏一会員など歴代の部会長にそれぞれ懐かしい話をしてくれた。その後も、中村副部会長の巧みな司会により終始楽しく祝賀会が行われた。終わりに今後活躍が期待される今年度の部会委員に抱負を話してもらった。

超音波部会長 奥川 令



# 第23回 放射線技師のためのセミナー 報告

平成26年6月28日(土)  
静岡県放射線技師会事務所

管理士部会も新しい役員となり、初めてのセミナーを開催しました。当日は、半導体検出器の最新情報と会員による使用経験、一般撮影とCTにおける不变性試験の実際、教育講演に日本診療放射線技師会理事をお迎えして管理士資格の更新に関する方法と要点についての講演をしていただきました。(参加者26名)

## メーカー講演「半導体検出器の紹介」

トーレック株式会社より、半導体検出器の基本原理とRaysafeX 2の製品紹介をして頂きました。半導体検出器の特徴は、エネルギー分解能が良い、高速応答が可能、小型検出器、電池駆動可能であり、センサー後面を鉛で遮蔽することにより、後方散乱線の影響を受けないとのことでした。RaysafeX 2は、センサーと本体をUSBケーブルで接続するだけで簡単に測定でき、一度の照射で複数の測定項目が表示されます。また、PCソフトウェアを使うことにより、パソコンにすべてのデータを転送でき、日常管理のデータ取りにも適しているということでした。

東洋メディック株式会社からは、半導体検出器の基本原理とRadicalの製品についての紹介をしていただきました。Radicalもエネルギーによつていくつかのセンサーが用意されており、診断領域のX線の測定が可能であるという事でした。また、マルチセンサーによる半価層の測定原理を示していただきました。半導体検出器の応用例として、CTの実行エネルギーの測定データの提示があり、エネルギースペクトルの違いによる値の違いについて説明していただきました。

会員発表では、沼津市立病院の浜崎あゆみ会員より、Unfors Xiを使用したマンモグラフィ品質管理についての発表がありました。半価層の値の信頼性の検討では、乳房撮影精度管理マニュアル

に従つて行った測定結果とUnfors Xiでの測定値との比較をし、良好な結果が得られたという事でした。

## 「ユーザーによる精度管理」

浜松医療センターの鈴木僚会員から、JIS規格をもとにした一般撮影装置の不变性試験についての発表がありました。幾何学的特性、高コントラスト解像度、X線像全域の光学的濃度変化、X線源装置からのX線出力、受像面へのX線入力を試験し、光学的濃度変化についてはデジタル値に置き換えて測定しているという事でした。

富士宮市立病院の勝間田悟会員からは、X線CT装置の精度管理についての発表がありました。QAファントムを用いた画像の評価では、コントラストスケール、高コントラスト空間分解能、低コントラスト分解能、ノイズと均一性を測定しているとの事でした。過去には平均CT値がわずかに許容範囲外であったため、メーカーによるフルキャリブレーションを行つた事もあるということでした。

## 特別講演「管理士認定資格更新に関する方法と要点」

日本診療放射線技師会より児玉直樹理事をお迎えして、管理士資格更新について御講演をして頂きました。今年度は多くの放射線管理士、放射線機器管理士の方が更新の時期になるため、提出資料のポイントなどを具体的に教えていただきました。(提示して頂いた資料につきましては、別途掲載させて頂きます。) また、診療放射線技師の業務範囲の見直しについてでは、診療放射線技師法の改正への経緯の説明がありました。業務拡大が進む一方で我々の責任が大きくなる事、それを果たすために更なる学習に努める事の大切さを教えて頂きました。

管理士部会長 池谷 正治

## 外傷性血管損傷に対して骨盤部TAE、大動脈ステントグラフト内挿術を行った症例

静岡県立総合病院 杉浦 靖幸

### <症例> 高エネルギー外傷

団地（5階建て）の下に右側臥位の状態で発見され、通行人が救急要請（10：20頃）。

当初、呼びかけには反応あり、主訴は腰部痛背部痛。前額部・右膝に出血あり。

BP-76/28 HR-135、その後BP-48/38 HR-132と低下傾向あり、当院ERへ搬送される。

### <Primary survey>

Airway : 気道開通。強い刺激でうー（open）

Breath : 呼吸音左右差（-）、皮下握雪感（-）、頸静脈怒張なし

Circulation : 末梢冷感（+）、冷や汗（+）、鼠径動脈触知（+）、橈骨動脈触知（-）

BP48/38mmHg、HR136bpm → shock

Dysfunction : GCS E2V2M4 計8点瞳孔4/4 対光反射（直接間接）+/+ 麻痺不明

JCS 30（挿管時にうーという発語あり）

Exposure&Environmental control : BT 35.6°C

### <FAST>①（到着時）

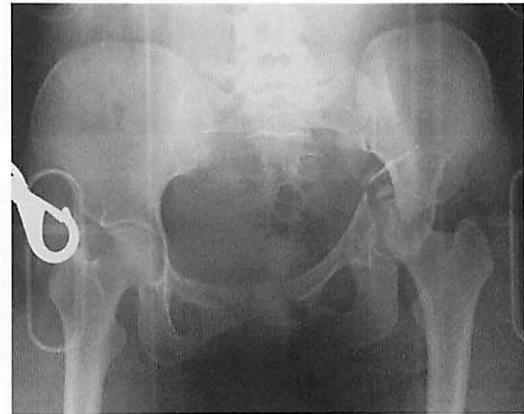
無エコー領域 : 心嚢周囲（-）、肝腎周囲（-）、脾周囲（-）、膀胱周囲（-）

<胸部xp、骨盤xp>（11：00頃）

患者到着前に、救急外来よりポータブル準備の指示あり。



<fig 1.>胸部Xp : 左血胸あり、気胸なし



<fig 2.>骨盤Xp : 不安定型骨盤骨折、臼蓋骨折

### <出血性ショックへの対応手順として>

①静脈路の確保と初期輸液療法

→ルートキープ2本（18G以上）

LEVEL 1による急速輸液療法開始

輸血準備（O型、Rh+）

②出血の原因検索と処置

外出血 →なし

内出血 →FAST : 左胸水少量

胸部Xp : 左血胸あり、気胸なし

骨盤Xp : 不安定型骨盤骨折、臼蓋骨折

初期輸液療法への反応あり、secondary surveyとして全身CT施行した。

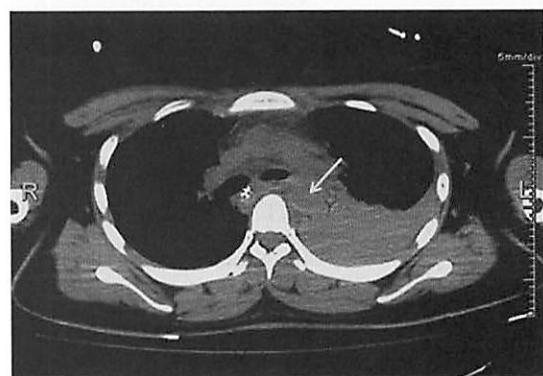


fig. 3



fig. 4



fig. 5

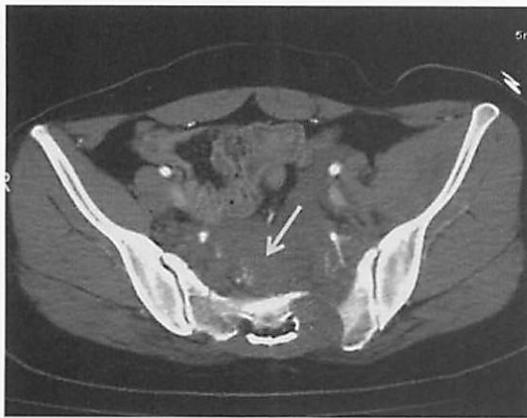


fig. 6

単純CTでAoの背側かつ縦隔内に高濃度の血腫を認める (fig. 3)。

動脈相で大動脈弓部遠位に限局する偽空開存型大動脈解離と後縦隔の血腫を認めた (fig. 4)。

血管外漏出を認めなかった。活動性出血ではなかった。そのため、縦隔内で自然に壁側胸膜でパッキングされているものとみなされた (fig. 5)。

仙椎の骨折があり、その前面に活動性出血を疑う、血管外漏出像が見られた (fig. 6)。

CTレポートでは、外傷性大動脈解離と動脈損傷疑い。後縦隔血腫あり。胸骨骨折。左外傷性血胸。肺挫傷。多発肋骨骨折。L5と仙椎骨折、多発骨盤骨折。活動性出血あり。

胸部下行大動脈に沿って後縦隔の血腫あり。弓部から下行にかけて外傷性と思われる大動脈解離を認めます。後縦隔血腫を伴っており、大動脈が損傷していると考えます。大動脈は全体的に細く、ショック状態による動脈収縮を考えます。ということであった。

来院時のHb10.4 mg/dlだったが、CTより帰室時Hb 6.2 mg/dlまで低下がみられた。

不安定型骨盤骨折：後腹膜血腫は放射線科Dr.に連絡して緊急TAEの方針に。

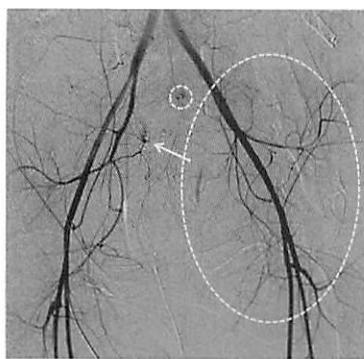
外傷性大動脈解離（弓部～下行大動脈）は心臓血管外科Dr.に連絡して緊急ステントグラフト内挿術（TEAVER）の方針に。

Angioの準備ができるまでは、LEVEL 1で急速輸血開始した。緊急輸血RCC O型Rh+を6単位（本来の血液型はB型）輸血した。そして、左胸腔に24Frドレン挿入し、200mlの血性ドレナージを確認できた。

ショックの原因は骨盤骨折によるものと判断した。Activeな出血をDynamic CTで骨盤骨折から確認できた。胸部下行大動脈の解離はDynamic CTでActiveな出血を認められなかった。自然にパッキングされているとみなし、骨盤部TAEを優先した。その間にステントグラフトの準備を進めた。

#### <骨盤部TAE>

Aortography（骨盤動脈造影）を施行すると左臼蓋の骨折部には造影剤の血管外漏出は認められない。しかし、対側の右仙骨部に血管外漏出を疑わせる像が見られる。左仙骨部にも不明瞭な染まりが見られた <fig 7.>



<fig. 7>  
右内腸骨動脈  
を選択して撮  
影すると、外  
側仙骨動脈の  
先に明らかな  
血管外漏出を  
確認できた。  
マイクロカテーテ

(parkway) を責任血管まで進め、3 mm角スパンゼル細片約5個を飛ばして塞栓後にフラワーコイル1.2-2を1個留置し、DSAにて塞栓を確認した。<fig 8.>

左仙骨部にも不明瞭な染まりが見られたが、RAO30°撮影で確認したがはっきりせず、胸部下行大動脈の解離に対するステントグラフト留置のため、心臓血管外科チームへバトンタッチした。



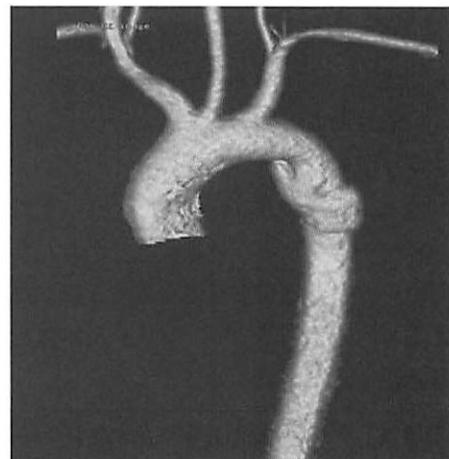
<fig 8.>

#### <TEAVER>

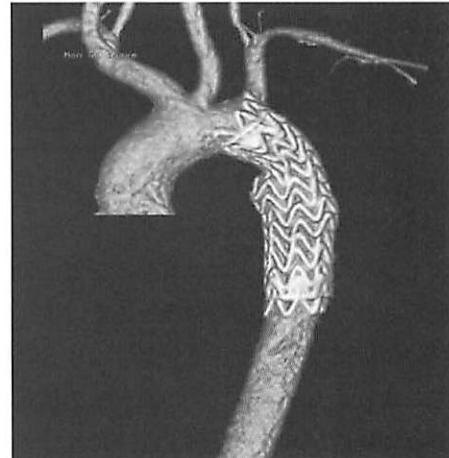
大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン（2011年改訂版）より、外傷性大動脈損傷、特に動脈管索ならびに下行大動脈に発生する外傷性大動脈損傷に対しては、ステントグラフト治療が第一選択となる。また、ステントグラフトのサイズは、径の10~15%のオーバイサイズにするとされている。術前術後の画像<fig 9.><fig 10.>より、左鎖骨下動脈の狭窄もなく、ステントグラフトが留置されていることが分かる。

まとめとして、Primary survey:胸部Xp、骨盤部Xp重要性。Vital安定して、secondary survey：鈍的外傷：胸～骨盤部、動脈優位相・静脈相撮影の必要性が分かりました。

Primary surveyで所見をしっかり技師も確認して次の準備を推測することが必要。アンギオのための3D処理（骨付きVR）を行うと、アンギオ室のスタッフも次への行動が予想しやすくなる。CTの所見を技師も確認してアンギオへ連絡することも大事だと思いました。一連の流れの中で、技師の中でのチームワークが重要だと感じました。



<fig 9.><pre>



<fig 10.> <post>

# 「バリウム検査における安全性情報」

株式会社伏見製薬所 安部由佳子

バリウム検査時に起こり得る有害事象として、以下の事象があります。

- (1) 過敏症（アナフィラキシー様症状）
- (2) 消化管穿孔
- (3) 誤嚥
- (4) 一過性の血圧低下

## 《アナフィラキシー様症状》

バリウム検査後の過敏症のうち、特に重篤な過敏症に「アナフィラキシー様症状」があります。発現した場合に、適切な対応や処置を行うために知っておくべき事項として、症状発現時間と具体的な症状が下表に記載しています。

発現時間	通常30分以内に症状があらわれることが多い。(早い場合、薬剤投与開始直後から5分以内に発症する例もある。)
初期症状	皮膚のかゆみ、じんま疹、紅斑・皮膚の発赤などの皮膚症状等
注意すべき症状	全身的な皮膚症状、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、どうき、意識の混濁等

過敏症の原因は、硫酸バリウム製剤に使用されている添加物と考えられています。しかし、各製剤に使用されている添加物は食品や医薬品に一般的に使用されている添加物がほとんどです。特に、取り扱いに厳重な管理や注意が必要な成分は使用されておりませんが、いずれの成分も過敏症の原因となる可能性があり、原因となった成分の特定は難しい状況です。

重篤な「アナフィラキシー様症状」が生じた場合の対処法の第一は、迅速な救命救急処置です。その後、症状に応じて薬物を投与することになります。重篤化の防止には、検査後の十分な経過観察等リスクに応じた対応も必要です。

予防方法としては、まず「充分な問診の実施」により医薬品に対する過敏症の有無等のリスクを把握し、その上で検査を中止する選択も必要となります。

## 《消化管穿孔》

消化管穿孔により腸管内容物が腹腔内に漏れ、「腹膜炎」を起こすことはよく知られています。硫酸バリウム製剤服用後に消化管穿孔が生じると消化物に硫酸バリウムが含まれ、特に「バリウム腹膜炎」と言い、単なる穿孔によるものよりも重篤な腹膜炎となり予後は不良とされています。穿孔して硫酸バリウムが腹腔内に漏れた場合には、開腹手術による処置が必要となります。

消化管穿孔は器質的疾患がない場合には、排便困難・便秘による硫酸バリウムの腸管内停留、腸閉塞により発症します。従いまして、穿孔の予防は、器質的疾患の有無を確認するためのきめ細かい問診の実施、及び検査後のバリウム便を適切に排泄させるための受診者への十分な説明に尽きます。

消化管穿孔の発生状況を頻度で示すことは、母なる胃バリウム検査数を正確に把握できないため、非常に困難ですが、日本消化器がん検診学会の「平成21年度上部消化管造影検査時の偶発症に関するアンケート調査結果」では、平成21年度の総検診数約420万件のうち、発生した消化管穿孔は6例で、うち1例は死亡例でした。また、平成19年4月～平成22年3月の3年間において、バリウムメーカーによる集計結果では、穿孔の症例数は38例、うち死亡例は5例ありました。

## 《誤嚥》

誤嚥は硫酸バリウム製剤に限らず飲食物でも発

生する有害な事象です。消化管X線検査では、硫酸バリウム懸濁液を多量に服用するという検査の性質上、誤嚥の予防や誤嚥後の処置について、適切な対応が必要となります。誤嚥は高齢者及び脳卒中等嚥下障害を起こす可能性のある疾患を持っている受診者に多くみられます。近年硫酸バリウム製剤は低粘性で飲みやすくなり、受診者が一気に飲む傾向が見受けられ、口いっぱいに含み過ぎることにより誤嚥リスクが高くなっています。

バリウム検査中に誤嚥の発生が確認された場合には、一旦検査を中止し、透視により硫酸バリウムの侵入した範囲とその程度を把握します。その後、必要に応じハッピングやスクイージングにより誤嚥した硫酸バリウムを排出させます。硫酸バリウム製剤の誤嚥では、呼吸の状態が落ち着けばその後、大きな問題に繋がることは稀です。しかし、肺炎などの呼吸器合併症が生じる可能性もありますので、経過観察は必要です。誤嚥後、硫酸バリウムが排泄されず長期にわたって残留する症例もありますが、硫酸バリウム自体に肺毒性はほとんどないため、臨床的な問題は通常起こらないと報告されています。

誤嚥の予防方法には、問診によるリスクの高い受診者のスクリーニング、準備体操、飲ませ方の工夫が挙げられます。飲ませ方の工夫としては、1) 通常の飲み物と同じ一口量で飲ませる(多量に含ませない)、2) 飲用前にのどを湿らせる、3) あわてて服用させないようにする、4) あごを上げて飲ませないようにする、という方法があります。

#### 《一過性の血圧低下》

一過性の血圧低下は、バリウム検査時に造影補助剤として服用する発泡顆粒による消化管内圧の上昇によって起こる有害事象です。これは、発泡顆粒の成分自体によるものではなく、有効成分同士が反応して発生する二酸化炭素(炭酸ガス)の、胃を膨らませるという物理的な作用によるものです。この物理的刺激により、自律神経反射が亢進

してバランスが崩れ、一過性の血圧低下を来たしますが、失神に至る場合もあります。

一過性の血圧低下の初期症状として、顔面蒼白、めまい感、眼前暗黒感、恶心、四肢脱力感等がみられます。何の前兆もなく失神にいたる例もあります。失神の持続時間は数秒から5分程度と短く、通常、回復後に意識障害がみられることがありません。ですから、これらの前兆や失神がみられた場合は、すぐに横にして休ませることにより、速やかに回復します。

一過性の血圧低下による失神は、一時的な事象ですので、病院へ行く必要はない場合が多い一方で、突然倒れて頭を強く打つ等、失神よりも外傷・怪我で重篤になる可能性もあります。一過性の血圧低下、失神そのものは特に治療を必要としませんが、転倒による怪我が起こらないよう十分な注意が必要です。

一過性の血圧低下は自律神経反射の亢進により生じますので、予防方法は、「自律神経反射の亢進を避ける・抑える」、「胃の膨らみを抑える」ということになります。初めて検査を受けられる方、特に緊張している様子が見られる方に対しては、リラックスして検査に臨めるよう、受診者への十分な配慮が必要となります。

また、転倒による怪我を防ぐには、発泡顆粒を服用後30秒から1分程度は、受診者の様子に注意を払い、失神の前兆が見られた場合にはすぐに横になって休めるよう、速やかに対応していただければと思います。

これら有害事象に関して、問診によるスクリーニングはとても重要ですが、その発生を完全に予防することはできません。ですから、発症してしまった際の対応が重要となります。発症後の更なる重篤化を防ぐためには、早期発見、早期治療が実施できるよう、バリウム検査時に起こる可能性のある有害事象について十分な理解と共通認識が必要です。

# 「読影補助の定義と教育について(その後)」

NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構  
公益財団法人 早期胃癌検診協会 松本史樹

## 技師読影補助の目的と背景

チーム医療の推進(厚労省)

目的:患者を中心としたより質の高い医療の実現

○医療スタッフの協働・連携による「チーム医療」の推進  
(厚労省:平成19年12月28日)

○各医療機関の実状に応じた適切な役割分担を推進するよう、「チーム医療の推進について」をまとめ、通知している。  
(厚労省:平成22年3月19日)

読影補助の目的は患者様を中心としたより質の高い医療を実現することであり、その手段としてチーム医療の推進があります。この背景には深刻な医師不足と医療の質的低下の危惧があげられています。

チーム医療とは、医療に従事する多種多様なスタッフが、目的と情報を共有し、各々の専門性を生かした業務分担をしながら、互いに連携・補完し、患者様の状況に的確な対応ができる医療を提供することです。

厚生労働省は、各医療機関の実情に応じ、適切な役割を分担し、医療スタッフの協働連携によるチーム医療の推進を図ることを平成19年12月に発令し、平成22年3月には具体的な案を通知しています。

## チーム医療への期待

質の高い医療の提供を目的

### ①医療・生活の質の向上

疾病的早期発見・回復促進・重症化予防

### ②医療の効率性の向上

医療従事者の負担軽減

### ③医療安全の向上

医療の標準化・組織化を基盤

チーム医療への期待は主に三つに要約できます。一つは、医療・生活の質の向上であり、疾病の早期発見・回復促進・重症化の予防などがあります。次は、医療の効率性の向上によって医療従事者の負担軽減を図ること。三つ目は、医療の標準化・組織化を通じて医療安全の向上があります。

## チーム医療の基本方針

①専門性の向上

②役割拡大

③連携・補完

チーム医療の基本方針は、専門性の向上と医療スタッフの役割拡大・医療スタッフ間の連携と補完の三つがあり、関係者が各々の立場でさまざまな取り組みを進めていく必要があります。

## II. 技師読影補助への期待と問題点

- 総合的な胃がんX線検診精度の向上
- 業務拡大と負担増
- 読影知識の習得と教育体制
- 読影能の評価と管理体制の構築

ここでは、胃がん検査における技師による読影補助への期待と問題点について述べます。

まず、総合的な胃がんX線検診の精度向上に期待ができます。一方、次のような問題や課題が出てきます。業務の拡大に伴う負担増が生じること、

質の高い医療の実現に貢献するためには必要なX線診断学を習得する必要があり、これも負担に繋がることが考えられます。

また、読影補助を実践する準備として、知識を習得する環境、すなわち教育体制を確立する必要があります。さらに、読影補助とは診断に必要な画像情報を提供、すなわちX線所見の提供ということになりますから、診断に必要な所見か否かを判断する能力（読影力）が必要となります。

従って、読影力の向上に向けた指導教育体制と読影力の評価、その資格証明を含めた管理体制の構築が必要になると考えます。

### 1. 総合的な胃がんX線検診精度の向上

- 1) 読影精度は画像精度と共に胃がんX線精度の根幹である。
- 2) 新・胃X線撮影法が広く普及することによって、  
画像精度は確実に向上している。
- 3) 胃がんX線診断の知識を身につけることによって、  
診精度向上への相乗効果を期待できる。

総合的な胃がんX線検診精度の向上ですが、その根幹には画像精度と読影精度があると言えます。画像精度では、新胃X線撮影法が広く理解され、全国的に普及し、少しずつですがその効果が撮影法の向上に現われてきています。

改訂版では、従来の間接撮影法と直接撮影法の整合性を持たせ、撮影法を基準化しました。これにより、画像精度の評価や管理、技術的な指導の指針などに対する共通した基準、あるいは共通した観点から行うことができるようになりました。今後、基準撮影法の技術的指導を強化することにより、画像精度の格差が是正され、精度は向上すると思われます。

チーム医療の推進の一環である技師による読影補助を契機に、多くの診療放射線技師の方々が、読影補助すなわち、診断に有用な画像診断の情報提供が、読影の効率化と精度向上をもたらすこと

を十分に理解し、画像情報を共有できるように、診断学の知識を身につけるための研鑽を積むことによって、次のような大きな進歩が期待されます。

読影に役立つ画像とは何かを理解でき、透視下に異常所見を発見し、より質の高い画像を提供するための工夫に繋がることになり、最終的には撮影技術とともに胃がんX線検診精度の向上に相乗効果をもたらすことになります。

そこで大切なことは、日常の業務で読影医と交流を持ち、信頼関係を構築することです。そうすることで、読影補助に必要な知識習得のきっかけをつかみ、読影医が求める画像を理解できるようになり、その為の工夫を図ることができると思います。

### 2. 業務拡大と負担増

- 1) 職能拡大に伴う業務の煩雑化と負担増。
- 2) 読影知識の習得に伴う負担増。

読影補助における診療放射線技師への期待は大変大きいのです。しかし、職能拡大に伴う業務の煩雑化が負担増に繋がることは確かです。

また、読影補助に必要なX線診断学を習得することが求められるので、そのための研鑽や努力も大きな負担となると思います。

### 3. 読影知識の習得

提供する画像情報が診断に有用であるようにするために、質的診断の知識が求められる。

- 1) 質的診断を含めた読影能が求められる。
- 2) 胃がんX線診断学の知識習得に向けた教育体制の構築が必要。

読影知識の習得ですが、診断に有用な画像情報を提供するには、当然ながらX線診断学の知識を身につける必要があります。いずれは、存在診断から質的診断が求められるようになってくると思いますので、質的診断を含めた知識の習得と研鑽を積まなければならることは、言うまでもありません。

診療放射線技師の多くの方が、読影補助という新たな業務に使命感を共有し、その役割を果たせるよう努力と研鑽を惜しまないことが、基本的な心構えとして大切だと考えます。

一方、胃がんX線診断学の知識習得に向けた教育体制の構築、特にその活動が必要であることは言うまでもありません。

#### 4. 読影能の評価と管理体制の構築

- 1)資格検定、資格認定を含めた組織体制の構築が必要。
- 2)共通な評価基準の設定が求められる。

読影能の評価と管理体制の構築についてですが、読影補助は一般に「技師チェック」と称して健診（検診）機関ではかなり実施されていると思いますが、その質を含めた実態は把握されていないのが現状です。

読影補助の目的に、質の高い医療の提供がうたわれている以上は、読影補助の業務に対して何らかの条件や規制が必要であると思います。例えば、読影技能検定やその資格認定のような、読影に必要な知識が備わっているか否かの評価と管理体制を構築する必要があると考えます。

一方、解決しなければならない課題は、読影能を評価する際の基準を明確にすることです。しかし、評価基準を明確化すること自体が容易でなく、NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構

ではグランドデザインとして読影部門の検定試験を実施していますが、評価基準の設定には頭を悩ましているところです。

#### 結語

読影補助を胃癌診断に有用な画像情報を提供することあると定義し、臨床放射線技師の立場から、胃がんX線検診における読影補助への期待と課題について述べた。

1. 総合的な検診精度の向上に期待。
2. 胃X線診断学の知識の修得。
3. 教育の組織体制と環境作り。
4. 読影能を評価・管理する組織体制の構築

胃がんX線検診の立場から、診療放射線技師による読影補助への期待と課題について私見を述べさせていただきました。まとめると、以下のようになります。

1. 読影補助とは、胃がん診断に有用な画像情報、つまり所見を提供することであり、読影医と画像精度を共有し、連携することで胃がんX線検診の総合的な精度向上が期待できる。
  2. 読影補助の胃X線診断体系における位置付けを明確にするには、胃X線診断学の知識を身に付ける必要がある。
  3. 胃X線診断学の習得を目的とした指導教育体制と環境作りが必要である。
  4. 読影能を評価管理する組織体制が求められる。
- 最後に、診療放射線技師による読影補助を確立するためには、NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構ばかりでなく、関連学会や研究会・勉強会は基より、静岡県放射線技師会や日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会などの、積極的な取り組みや支援・連携に期待をするものです。

# 平成25年度 静岡県放射線技師研修会

シンポジウム

## 「上部消化管検査における読影補助業務」

司会 浜松南病院

佐藤慎祐

伊豆保健医療センター

秋山 洋



(シンポジウム 写真左から)

聖隸健康診断センター	村松晴仁	会員
藤枝市立総合病院	蒔田鎮靖	会員
静岡がんセンター	伊藤宏明	会員
聖隸予防検診センター	平野昌弘	会員
早期胃癌検診協会	松本史樹	先生
浜松南病院	佐藤慎祐	会員
伊豆保健医療センター	秋山 洋	会員

今回は、(公社) 静岡県放射線技師会として「上部消化管検査における読影補助業務」をどのように捉えるかということを目的に、企画調査委員会から「静岡県における上部消化管検査読影補助の現状」の報告をさせていただき、医療安全の観点から「パリウム検査における安全性情報」を伏見製薬の安倍先生に、特別講演として早期胃癌検診協会の松本先生から「読影補助の定義と教育について（その後）」と題した講演をいただきました。

このシンポジウムでは、皆さんが疑問に思っている「読影補助業務って何だろう」ということをまとめて、定義付けできればと考え、上部消化管検査における読影補助業務をどのように考え・実践しているのかを、健診機関から聖隸健康診断センターの村松先生、総合病院から藤枝市立総合病院の蒔田先生、専門病院から静岡がんセンターの伊藤先生、教育的な立場でもあるNPO日本消化器がん検診精度管理評価機構指導員の聖隸予防検診センター平野先生、それぞれの立場からどのように捉えているかを発表していただきました。

特別講演の松本先生と司会（佐藤・秋山）を交えた7名での討論（抜粋）を以下のようにまとめました。

◇佐藤　ここから討論にはいりますが、各先生方の発表の中で、基準撮影法を基盤としてしっかりと撮影すること。そこで盲点があるようだったら追加撮影を行い、病変があるようだったら存在および質的診断の追加撮影を加え、レポートを提出する。つまり、共通するキーワードは、追加撮影とレポートだったかなと思います。

少し古いデータですが、2004年の日本消化器がん検診学会コンセンサスミーティングでは、82%の医師がレポートを望んでいるとの回答を得ています。技師サイドでは、2007年の全国調査ですが70%以上が記載しているとのデータがあります。今回の静岡県での調査は51%だったので、この数字だけを見るとレポートの記載がチョット少ないのでとの感じがしています。ただ、基準撮影法に関しては81%の施設が取り入れているようなので、画質についてはある程度担保されているかなとの印象でした。

そこで各先生に質問ですが、それぞれの立場でどのように、どこまでのレポートを書いているのか教えていただけますか。

◇村松　健診という立場上、一日に沢山の数を撮影しますので、発表の中でも照会したレポートシ

ステムを用いて、出来るだけ効率のよい方法を取っています。主に存在診断ですが、フリーコメントを利用して質的な部分などを含めたコメントを記載しています。

◇蒔田 当院では、任意型健診（人間ドック）と精密検査（術前）を実施しています。人間ドックの場合は最低限存在診断ですが、追加撮影が適切に行われており、良性・悪性の鑑別から深達度・組織型など質的診断・量的診断も可能ならば記載します。精密検査の場合は、検査中に指摘できたことは全て記載しますが、手術・治療のことを考えた情報、たとえば病変の場所や広がりですね、これによって手術方法や治療方針も変わってきますから、計測を含めてそこまでをレポートに記載します。

◇佐藤 伊藤先生の場合は、がんセンターですので存在は判っていると思いますので質的診断になると思いますが、治療にすることなどを含めて記載しますか。



◇伊藤 手術が前提の患者様がほとんどなのですが、レポートでは検査から得られる画像情報だけで、治療方針や術式までは踏み込みません。

また、内視鏡が先行して実施されるので、どうしても内視鏡所見に近いレポートを書いてしまう傾向があるので、あくまでもX線検査から得られる情報を記載するよう指導しています。

◇佐藤 ここで平野先生にお伺いしますが、村松先生がパソコンシステムを使ったレポートингをしていると話していましたが、アナログの頃はどうのようにしていたのでしょうか。

◇平野 今は撮影直後にレポートを記載していますが、フィルムの頃は検査が全て終了してから現像して、そのあとこのようなA4の紙に有所見の方のみフリーハンドでシェーマを書いていました。まれに、追加撮影したのに上手く写っていない時

などは「・・・に・・・の所見がありますが、上手く写っていませんでした」などと書いていました。

◇佐藤 松本先生、早期胃癌検診協会ではどのようにしていますか。



◇松本 我々の所は健診機関ですから、紙のものですが、三枚綴りになっていて、食道・胃などの臓器、部位・所見・診断用語が予め記載してあり、診断は技師が行いませんが、医師も技師も同じレポートを使っています。

◇佐藤 ここからは追加撮影の話しになりますが、所見がある場合と無い場合の追加撮影があると思いますが、スクリーニング検査の場合は時間や被検者様側の要因も含めて、粘液や泡などをどこまで追加撮影して否定するのかを教えてください。

◇村松 まずはおかしいと感じることが大切だと考えますが、高齢の方などは無理の無いようにしますが、個々の技師の判断にゆだねており、個人差があります。

◇蒔田 ある場合はみんな一生懸命撮ってくれますが、無い物を無いと言うのは難しいことだと思います。まず、自分の撮った写真が粘液ベタベタで汚いと気付くかどうかが大切で、次に受診者の状態を見て判断することになります。言い訳のようですが、「体位変換が困難なので…」とレポートに書くこともあります。

また、気付かない場合は、指導する立場の技師が写真を見て気付かせる必要があります。いつも自分の家族を撮っているような気持で検査するよう指導しています。



◇松本 体位変換が困難、著しい肥満など上手く撮影できない場合は、レポートにその理由とともに「次回は内視鏡でお願いします」と書き加えています。

◇佐藤 私も、上手く撮れない時こそレポートに書く必要があるのではないかと思います。気になつたことをレポートに書いて、医師に伝えることが我々にできることだと考えています。

教育的なことになりますが、平野先生、追加撮影の指導の方法ですが、どのようにしていますか。



◇平野 まず綺麗に追加撮影された写真を見てもらい、病変と追加撮影の関係・医師はこういう写真を求めていることを理解した上で、実際の撮影指導にあたります。

撮影指導の際は、横について透視画像と一緒に見ながら、角度やタイミングを教えています。目標としては最初の1年は存在診断ができるレベルの追加撮影、2年目以降は質的診断ができるレベルを望んでいます。

◇佐藤 透視中に異常を見つけなければなりませんが、そのためのトレーニングはどのようにしていますか。

◇平野 動画を使った教材が教育には適していると思いますが、なかなか動画の撮れる施設はありませんから、勉強会などでは静止画をスライドショーのように提示して、異常を見つけるトレーニングをしています。

◇蒔田 以前に動画を使った勉強会を行ったことがあります。最近は全国的にも動画を使った勉強会が開催されているので、参加してみるのも良いと思います。

◇佐藤 松本先生、透視中に異常を見つける「コツ」というか方法は何かありますか。

◇松本 私は、線と面で捉える方法をとっています。

◇佐藤 具体的には。

◇松本 体位変換を終えた時に、小弯→十二指腸→大弯と辺縁を目で追い、次に口側から襞を追います。どんな順番にしろ、全体を見ることと順序を決めておくことが大切です。

◇佐藤 最後になりますが、読影補助を実践するうえで、やらなければならないことを、お一方ずつお願ひします。



◇村松 私は責任感が大切だと考えます。業務が多忙になり、意識が薄くなっているように感じ取れます。全員が同じペクトルになることは難しいと思うので、今やっていることですが、教育というよりは雰囲気づくりですね。少しづつ変わってきているので、根気よく続けて、「やらなければ」という気持ちや責任感が出てくれれば、抵抗なく読影教育も行えると思います。



◇蒔田 医師とのコミュニケーションが大切だと思います。医師に認めてもらうには質の高い画像を提供することや自分から積極的にアピールすることも必要だと思います。

カンファレンスや勉強会に参加し、医師とのコミュニケーションを図ること、医師と一緒に仕事をしていくことが大事だと考えています。

◇伊藤 自分の撮った写真に言い訳をしないことが成長の第一歩だと思います。指導に当たっては、我々は技術者ですから、技術の差を画像として見せることができれば、差があるうちは指導して行けるのかなと考えています。

◇平野 検診を行っている立場ですから、自分の撮った写真を必ず確認し、医師の出した最終結果を確認すること、自分の読影した結果もそこで確認することが必要だと思っています。また、症例検討会で多くの症例を見て記憶することが大切だと思います。

◇松本 蒔田さんと同様ですが、医師とのコミュニケーションを図ること、症例検討会や勉強会に参加していろいろな症例を見ること、理論は後からついてくると思うので、難しいのですが目の訓

練が必要だと考えます。

◇佐藤 ありがとうございました。結局のところ、読影補助と言うのは医師に対する情報提供、顧客が医師になるのですから、医師とのコミュニケーションが取れていないと、どうにもならないということが見えてきたようです。

今回のアンケートを見ると、「カンファレンスが行われていない」・「カンファレンスに技師が不参加」を合わせると70%あります。と言うことは、自施設での医師との関わりが少ないと、足りないのではないかと思います。

今日のシンポジストの皆さんがあなたが言っていたことをヒントに、明日から医師とのコミュニケーションを図っていただき、読影補助につなげていただければと思います。



◇秋山 今回のテーマである読影補助業務の目的は、チーム医療の推進を図り、患者を中心としたより質の高い医療を実現することですが、背景には医師不足とそれに伴う勤務医の負担軽減があると思います。

また、医師サイドを見ると、上部消化管検査では内視鏡が主体となっており、読影医のマンパワー不足とX線画像の読影経験が少ないという課題があるのでないかと思います。一方、技師サイドでは、技術の差が出る検査であり、施設間や技師間の差があると感じています。

今日の発表やこれまでの討論を聞いてみると、キーワードは「追加撮影」・「読影レポート」・「医師とのコミュニケーション」・「カンファレンス」・「結果のフィードバック」などがあげられていました。これらを頭に入れて、明日からの業務に役立てていただければと思います。

これまでを見ると、静岡県のレベルは相当高いなと思うかもしれません、アンケートを158施設に配布し、回答は32施設でした。残りの126施設と本日参加していない施設の様子は判りません。

したがって、静岡県全体がこうだとは言い切れません。

今日のテーマである読影補助業務の定義ですが、我々は検査中に読影をしています。透視観察をしている中で、「これは所見である」とか「これは残渣」だと判断し、追加撮影が必要であるか否かを判断、つまり読影をしいるのです。読影をしながら撮影をしているのです。ですから、読影と撮影は分けては考えられなく、一体となった一つの検査だと考えます。

読影補助業務を考える上では、読影と撮影を一体として捉える必要があると感じました。今回、この場では、上部消化管検査における読影補助＝「診断に有用な画像情報の提供と一次読影」と定義させていただきます。また、一次読影を技師読影や撮影者読影と読み替えていただいても良いと思います。

教育や認定については、NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構や日本消化器がん検診学会を中心に行われていますが、まだ底上げが必要だと感じています。静岡県放射線技師会や日本診療放射線技師会にも協力していただき、教育を進めたいと思います。

# 第23回 放射線技師のためのセミナー 「管理士認定資格更新に関する方法と要点」

日本診療放射線技師会理事 児玉直樹

## 放射線機器管理士

放射線機器管理士 資格更新申請書																																																																																																																																																																														
登録申請人氏名: 放射線機器管理士																																																																																																																																																																														
登録料: 205																																																																																																																																																																														
施設名: 日赤病院																																																																																																																																																																														
登録料支拂番号: 99999																																																																																																																																																																														
部局: 日赤一部																																																																																																																																																																														
<p>私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。</p> <p><input type="checkbox"/> 放射線機器の運営ならびに実験を受取ることにより、資格更新をいたします。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。 詳細は該当欄をチェックしてください。</p>																																																																																																																																																																														
<p>1. 申請内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>項目</th> <th>2008</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>付与カウント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">管理実績(1)</td> <td>1 日常安全管理</td> <td>レ</td> <td>1</td> <td>レ</td> <td>3</td> <td>レ</td> <td>5</td> <td>レ</td> <td>7</td> <td>1項目につき10/年 2項目以上20/年</td> </tr> <tr> <td>2 運守管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 機器選定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 許認可申請</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 保守管理契約</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 運守管理制度マニュアル作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 受入試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 新規購入装置の仕様評価</td> <td></td> <td>レ</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 医療機器安全評議会の開催</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 安全点検実施実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> <td>4</td> <td></td> <td>レ</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 医療機器定期検査実施実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 医療機器の定期点検実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 医療機器の定期監視を行った場合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7"> <p>2. 管理実績(2) 1 医療機器低減施設認定 施設勤務者</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="7">この欄は記入しないでください。</td> </tr> <tr> <td colspan="7"> <p>3. その他</p> <table border="1"> <tr> <td>(添付資料不要)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="7">この欄は記入しないでください。</td> </tr> </tbody> </table>							項目	項目	2008	2009	2010	2011	2012	付与カウント	管理実績(1)	1 日常安全管理	レ	1	レ	3	レ	5	レ	7	1項目につき10/年 2項目以上20/年	2 運守管理										3 機器選定										4 許認可申請										5 保守管理契約										6 運守管理制度マニュアル作成										7 受入試験										8 新規購入装置の仕様評価		レ	2							9 医療機器安全評議会の開催										10 安全点検実施実績				レ	4		レ	8		11 医療機器定期検査実施実績										12 医療機器の定期点検実績										13 医療機器の定期監視を行った場合										<p>2. 管理実績(2) 1 医療機器低減施設認定 施設勤務者</p>							この欄は記入しないでください。							<p>3. その他</p> <table border="1"> <tr> <td>(添付資料不要)</td> </tr> </table>							(添付資料不要)	この欄は記入しないでください。						
項目	項目	2008	2009	2010	2011	2012	付与カウント																																																																																																																																																																							
管理実績(1)	1 日常安全管理	レ	1	レ	3	レ	5	レ	7	1項目につき10/年 2項目以上20/年																																																																																																																																																																				
	2 運守管理																																																																																																																																																																													
	3 機器選定																																																																																																																																																																													
	4 許認可申請																																																																																																																																																																													
	5 保守管理契約																																																																																																																																																																													
	6 運守管理制度マニュアル作成																																																																																																																																																																													
	7 受入試験																																																																																																																																																																													
	8 新規購入装置の仕様評価		レ	2																																																																																																																																																																										
	9 医療機器安全評議会の開催																																																																																																																																																																													
	10 安全点検実施実績				レ	4		レ	8																																																																																																																																																																					
	11 医療機器定期検査実施実績																																																																																																																																																																													
	12 医療機器の定期点検実績																																																																																																																																																																													
	13 医療機器の定期監視を行った場合																																																																																																																																																																													
<p>2. 管理実績(2) 1 医療機器低減施設認定 施設勤務者</p>																																																																																																																																																																														
この欄は記入しないでください。																																																																																																																																																																														
<p>3. その他</p> <table border="1"> <tr> <td>(添付資料不要)</td> </tr> </table>							(添付資料不要)																																																																																																																																																																							
(添付資料不要)																																																																																																																																																																														
この欄は記入しないでください。																																																																																																																																																																														

私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。



更新講習会の受講ならびに試験を受取ることにより、資格更新をいたします。

以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。

※どちらかをチェックしてください。

### 1. 申請内容

種別	項目	2008	2009	2010	2011	2012	付与カウント			
I 管理実績(1)	1 日常安全管理	レ	1	レ	3	レ	5	レ	7	1項目につき10/年 2項目以上20/年
	2 保守管理									
	3 機器選定									
	4 許認可申請									
	5 保守管理契約									
	6 保守安全管理マニュアル作成									
	7 受入試験									
	8 新規購入装置の仕様評価		レ	2						
	9 医療機器安全性情報の提出									
	10 施設内教育訓練実施				レ	4		レ	8	
	11 施設外機器管理技術指導実施									
	12 医療機器安全管理PR活動									
	13 医療施設の医療監視を行った場合									
<p>この欄は記入しないでください。</p>										
<p>2. 管理実績(2) 1 医療機器低減施設認定 施設勤務者</p>										
この欄は記入しないでください。										
<p>(添付資料不要)</p>										
この欄は記入しないでください。										



私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

更新講習会の受講ならびに試験を受験することにより、資格更新をいたします。

以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。 ※どちらかをチェックしてください。

1.申請内容

種別	項目	2008	2009	2010	2011	2012	(合計カウント)
1 管理実績(1) (添付資料必要)	1 日常安全点検管理	レ 1	レ 3	レ 5	レ 6	レ 7	1項目につき10/年
	2 保守管理						2項目以上20/年
	3 機器認定						
	4 許認可申請						
	5 保守管理契約						
	6 保守安全管理マニュアル作成						
	7 受入試験						
	8 新規導入装置の仕様評価		レ 2				
	9 医療機器安全性情報の提出						
	10 施設内教育訓練実施			レ 4		レ 8	
	11 施設外機器管理技術指導実施						
	12 医療機器安全管理PR活動						
	13 医療施設の医療監視を行った場合						
この欄は記入しないでください							
管理実績(2) (添付資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設勤務者						20/年
							この欄は記入しないでください

様式第23号

エックス線装置設置届

(A4判)

平成21年12月21日

秋田県知事 ㊞ 秋田県秋田市〇〇町△-×

管理者 住 所 日放病院  
氏 名 病院長 日放太郎 印

エックス線装置の設置について（添付）

エックス線装置を設置したので、医療法第15条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

1 病院又は診療所の名称及び所在地

秋田県秋田市〇〇町△-×

2 エックス線装置の製作者名、型式及び台数

製作者：フィリップスエレクトロニクス（オランダ）  
型式・台数：Allura Xper FD20/10・1台

3 エックス線高電圧発生装置の定格出力

撮影 100kW  
最大管電圧と管電流 125kV 80mA  
管電圧と最大管電流 80kV 1250mA

透視 2.5kW  
最大管電圧と管電流 125kV 20mA

4 エックス線装置及びエックス線診察室のエックス線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

（別紙のとおり）

5 エックス線診療に従事する医師、歯科医師、診療放射線技師又は診療エックス線技師の氏名及びエックス線診療に関する経験

（別紙のとおり）

許認可申請実績 報告書

平成25年9月28日

公益社団法人日本放射線技師会

会長 中澤 増夫 印

放射線機器管理士として、放射線機器許認可申請に関する実務をおこなったので報告します。

施設名 日放病院  
所属 〒100-0001  
認定番号 99999  
技術会員番号 333333  
氏名 日放 一郎  
許認可申請内容

前記選べる候より、新血管撮影装置設置へ  
許認可申請を行いました。

上記の者は本施設に所属し、放射線機器許認可申請業務に従事したこと認めます。

所属 東京都港区六本木〇〇-〇  
役職 日放総合病院長 日放 太郎  
氏名 印

私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

更新講習会の受講ならびに試験を受験することにより、資格更新をいたします。

以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。

\*どちらかをチェックしてください。

1.申請内容

種別	項目	2008	2009	2010	2011	2012	付点カウント
I 管理実績(1) (添付資料必要)	1 日常安全点検管理	✓	✓	✓	✓	✓	1項目につき10/年
	2 保守管理						2項目以上20/年
	3 機器選定						
	4 許認可申請						
	5 保守管理契約						
	6 保守安全管理マニュアル作成						
	7 受入試験						
	8 新規購入装置の仕様評価		✓				
	9 医療機器安全性情報の提出						
	10 施設内教育訓練実施			✓		✓	
	11 施設外機器管理技術指導実施						
	12 医療機器安全管理PR活動						
	13 医療施設の医療監視を行った場合						
この欄は記入しないでください							
管理実績(2) (添付資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設勤務者						20/年
		この欄は記入しないでください					

教育訓練の記録(定期教育訓練)

実施年月日 H22.7.12 (月)  
実施場所 ライナック室  
対象者 放射線治療業務従事者

放射線安全委員会委員長	放射線取扱主任者
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

講師名	講習内容
	X線吸収線量の測定
"	放射線生物学
"	放射線看護
"	QA, QC について

No.	受講者指名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

私は放射線機器管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

更新講習会の受講ならびに試験を受験することにより、資格更新をいたします。

以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。※どちらかをチェックしてください。

#### 1.申請内容

種別

項目

2008

2009

2010

2011

2012

付与枚数

I 管理実績(1) (添付資料必要)	1 日常安全点検管理	レ 1	レ 3	レ 5	レ 6	レ 7	1項目につき10/年
	2 保守管理						2項目以上20/年
	3 機器選定						
	4 許認可申請						
	5 保守契約						
	6 保守安全管理マニュアル作成						
	7 受入試験						
	8 新規購入装置の仕様評価	レ 2					
	9 医療機器安全性情報の提出						
	10 施設内教育訓練実施		レ 4			レ 8	
	11 施設外機器管理技術指導実施						
	12 医療機器安全管理PR活動						
	13 医療施設の医療監視を行った場合						
この欄は記入しないでください							
管理実績(2) (添付資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設管理者						20/年
							この欄は記入しないでください

#### 新放射線治療(リニアック)装置比較評価

- 【対象装置】  
 1. 東芝メディカルシステムズ ONCOR  
 2. シーメンス旭メディテック ONCOR  
 3. パリアンメディカルシステムズ  
 Clinac iX (21EX)  
 4. エレクタ Elekta Synergy

新放射線治療装置比較評価					内容詳細は新放射線治療装置は較差参照		2008.4.27
電子加速装置	東芝 ONCOR	シーメンス ONCOR	パリアン Clinac	エレクタ Synergy			
加速器機種	固定装置 回転装置 回転装置	固定装置 回転装置 回転装置	固定装置 回転装置 回転装置	固定装置 回転装置 回転装置	送行装置(20年保証)	回旋管・電子線分離型 (ケーブル直通) [真空度不調]	
高周波発生器	クライストロン	クライストロン	クライストロン	クライストロン		マグネットロン	
評価	○	○	○	○			○
* (東芝・シーメンス) 消耗部品に比べ電子熱の交換頻度は多く、一体型はその度にビームデータ読みが必須であり、コストも増加							
* (エレクタ) マグネットロンの信頼性は不明							
評価決まりめい							
EPID(ポータルイメージング)	(ネルサイズ 41×41cm <sup>2</sup> )	(ネルサイズ 41×41cm <sup>2</sup> )	(ネルサイズ 40×30cm <sup>2</sup> )	(ネルサイズ 41×41cm <sup>2</sup> )			
OBI(オブザーブドイメージング)(一)	(MV-GT)	(MV-GT)	X線管球-FPD	X線管球-FPD			
コーンビームCT			KV-GT	KV-GT			
評価	○	○	○	○			○
* (パリアン・エレクタ) X線管球-FPD方式OBIは、国質良好でボトム画像・コーンビームCTに有利であるが、コスト増加と程度にリスクを伴う							
* (東芝・シーメンス) MV-GTは、審査的には余裕があるが精度や金属アーチファクトに有利							
評価							
* (東芝・シーメンス) 回転野射はできないが自転照射機能によって代替							
* (エレクタ) 10mm幅のマルチリーフコリメータは、自転照射や2D照射に不利							
評価							
X線・電子線出力							
X線 エネルギー(MV)	4/10 ( 8/10 )	4/10 ( 8/10 )	4/10 ( 8/10 )	4/10 ( 8/10 )			
出力電流率 (eGy/min)	250/300 ( 300/300 )	200/300 ( 300/300 )	250/400 ( 400/400 )	250/300/400			
半価層	±3.0 % 以内	±3.0 % 以内	±3.0 % ( 6MV±1.2 % ) 以内	±3.0 % 以内			
対称度	±2.0 % 以内	±2.0 % 以内	±3.0 % 以内	±3.0 % 以内			
電子線 エネルギー	4種類	4種類	5種類	4種類			
出力電流率 (eGy/min)	300-900	300-900	300-400-1000	400			
対称度	±2.0 % 以内	±2.0 % 以内	±2.0 % 以内	±2.0 % 以内			
X線合算率	±2.0 % 以下	±2.0 % 以下	±2.0 % 以下	±2.0 % 以下			
評価	△	△	△	○			○
* (東芝・シーメンス) 4MV/10MVの組み合わせの場合、純量率 300eGy/minまでしか出力しない							
* (エレクタ) 3種のX線エネルギーを混在可能であり、設置率も充分出力できる							

その他				
実績	285台(国内 1/3)	285台(国内 1/3)	241台	東大 等
保守 サービス	北九州営業所	北九州営業所	福岡支店	福岡支店(予定)
リモートメンテナンス機能	可能	可能	予定	(一)
評価	◎	◎	○	△
* (エレクタ) サービス体制の脆弱さと国内実績の少なさに問題点				
総合評価点	16	16	20	16
( ◎=3点 ○=2点 △=1点 )				
以上を新装置の比較評価とする。				
ただし、				
* 「東芝・シemens ONCOR」と「エレクタ Synergy」は総合評価点は同数ではあるが国内実績・保守サービスを考慮した場合、前記機種が有利である				
* この総合評価点はRISや治療計画装置との親和性や接続に関する要項は含まれていない				
放射線部担当 :				

管理実績(2) (添付資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設勤務者	20/年
II 研修実績 (添付資料必要)	1 放射線機器管理土曜会活動(都道府県部会活動を含む) ①講習会等参加 3:9 ②講習会等講師 3:10 3:11 1/時間 30/時間	この欄は記入しないでください

年20カウント×5年=100カウント → 更新！

1.申請内容		項目	2008	2009	2010	2011	2012	付与カウント	27 24
種別	項目								
I 管理実績(1) (添付資料必要)	1 日常安全点検管理	✓/1	✓/2	✓/5	✓/7	✓/9		1項目につき10/年	
	2 保守管理		✓/3	✓/6	✓/8	✓/10		2項目以上20/年	
	3 機器認定								
	4 許認可申請								
	5 保守管理契約								
	6 保守安全管理マニュアル作成								
	7 受入試験								
	8 新規購入装置の仕様評価				✓/4				
	9 医療機器安全性情報の提出								
	10 施設内教育訓練実施								
	11 施設外機器管理技術指導実施								
	12 医療機器安全管理PR活動								
	13 医療施設の医療監視を行った場合								
II 研修実績 (添付資料不要)	1 医療被ばく低減施設認定 施設勤務者		✓	✓	✓	✓		20/年	97
							✓/20	✓/20	40





[培训类] 项目实施前培训需求调查问卷				
培训项目名称： 日常管理实务 培训日期： 2023年7月10日				
1) 培训项目		培训目的 通过系统学习日常管理实务，提高学员在企业中的综合管理水平。培训对象：全体员工		
2) 参与人员		主要参与人员：项目经理、市场部经理、销售部经理、财务部经理、人力资源部经理		
3) 培训内容及教材		① 常用办公软件应用 ② 常用项目管理工具 ③ 常用数据分析方法 ④ 常用财务管理知识 ⑤ 常用人力资源管理知识 ⑥ 常用销售技巧 ⑦ 常用市场研究方法		
4) 培训效果评价 通过本次培训，学员们掌握了大量的日常管理知识，提升了自身的综合管理水平，达到了预期的效果。				
评估人签名：_______ 评估日期：______ 评估结果：_____				

1) 培训需求分析 评估项目：日常管理实务		2) 培训计划设计 评估项目：日常管理实务		3) 培训实施效果评价 评估项目：日常管理实务																										
<p>以下5个问题请根据实际情况选择合适的评价等级：</p> <table border="1"> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> </table>						非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
<p>以下5个问题请根据实际情况选择合适的评价等级：</p> <table border="1"> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> </table>						非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
<p>以下5个问题请根据实际情况选择合适的评价等级：</p> <table border="1"> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> </table>						非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
<p>以下5个问题请根据实际情况选择合适的评价等级：</p> <table border="1"> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> <tr><td>非常不满意</td><td>不满意</td><td>一般</td><td>满意</td><td>非常满意</td></tr> </table>						非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意	非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										
非常不满意	不满意	一般	满意	非常满意																										

私は放射線管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

更新講習会の受講ならびに試験を受験することにより、資格更新をいたします。

以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。

※どちらかをチェックしてください。

1 管理実績(1) (添付資料 必要)		1項目につき10/年					
1 放射線取扱主任者選任(施設選任)							
2 放射線取扱副主任者(施設選任)							
3 安全管理責任者/被服管理責任者(放射線施設の管理・運営に限る)							
4 外部清浄放射量・被服管理区域等の測定実務・管理	✓	1	✓	2	✓	3	✓
5 52号法による汚染状況の測定実務・管理							
6 作業環境測定実務・管理(非密封放射性同位元素の使用に係る測定)							
7 サーベイメータ・線量校正							
8 個人外部被ばく線量管理							
9 個人内部被ばく線量管理							
10 教育訓練(教育法第22条関係)または特別の教育(電気法第52条の6関係)の実施							✓
11 施設内での従業員への放射線安全管理教育の実施							
12 許認可申請(施設認証新規力計算を行なった場合)							
13 医療監視による報告(医療監視対象施設)							
14 施設安全管理計画書および結果報告書(医療監視非対象施設)							
15 行政機関等による立ち入り検査等の報告							
16 極く線量測定と被ばくガイドラインによる規制活動							
17 施設訪問調査定めらびアドバイス等の活動							
18 放射線災害等防災計画への参画・関与							
19 放射線災害等防災訓練への参加							✓
20 放射線障害に伴うたは伴ひ恐れのある災害および事故等に從事							
21 市民を対象とした放射線についての公開講演の開催							✓
22 健康祭等における放射線被ばく等の啓発活動							
23 常時あるいはホームページへの放射線相談窓口開設による対応							

### 保健所立入検査における記録書

年月日 平成24年10月9日 13時30分～15時30分

調査者 放射線技師

対応者 放射線技師長

部署名 放射線部

#### 平成24年度 保健所監査

##### ・照射線について

- 質問：オーダーリング、電子カルテになつてゐるか  
回答：電子カルテでオーダーされてRISで受取、照射線はプリントアウトしている  
質問：電子署名はつてゐるか？  
回答：電子カルテの立ち上げユーザー名がRISに飛ぶためそれで電子署名としている

##### ・被曝施設について

- 質問：着用者が49歳いから61名になつたのはどうしてか  
回答：64CTがつって看護師の被曝が増えたため

質問：看護師以外も増えているのではないか  
回答：放射線技師、医師も増えている

質問：被膜外科の被膜多い

回答：秋の健康診断には目、皮膚検査を実施する予定。5mSvがラインなのでこの人だけと考えている

質問：なぜ被膜あるか？

回答：多くわかりません。  
大庭さんのが被膜しているのに、三輪、飯田がゼロはおかしい。ちゃんと着用していないのではないか？

回答：確認しました

質問：岡本技術者は何の仕事をついているか

回答：MR、CT、撮影です

質問：通常浴びないのでないか  
回答：血管造影PTA等では浴びる

##### ・漏泄量測定

- 質問：血管造影室の管球周りの線量は割っているが線量があつてゐるのか？

回答：あつてます

質問：測定月は

回答：1月と2月です。数が多いので数日に分けて測定している

質問：2月の2月です。

撮影室が多いのに放射線技師の数が足りてゐるのか

回答：数を調整しながら仕事しています。

質問：数が足らないのではないか  
回答：足らないわりにがんばってます

質問：骨密度は漏洩線量が出てますが間違いないか  
回答：ファンビームになってから針が振れるようになった

質問：胃透視はしているか  
回答：している

質問：6列と64列の室内の線量がどれくらい違うか  
回答：結果の通りです。

質問：手術室ドアには管理区域の標識があるか  
回答：張ってあります

質問：この手術室はどうやって割っているか  
回答：ベッド下のCCDの1.1.0cm間に鉛ガラスなしで割っている

質問：被服の書き場所が明らかでない用紙に書いておいてくれ  
回答：離原の書き場所を記憶します

質問：スマートはやっているか



私は放射線管理士の資格更新にあたり、以下の申請をいたします。

更新講習会の受講ならびに試験を受験することにより、資格更新をいたします。

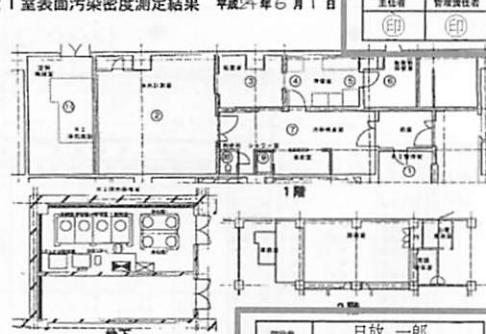
以下の申請書類の内容に基づいて資格更新をいたします。

\*どちらかをチェックしてください。

[1項目につき10/年]

I 管理実績(1) (添付資料 必須)	1 放射線取扱主任者認定(施設運営) 2 放射線取扱副主任者(検査運営) 3 安全管理責任者/施設安全管理責任者(放射線施設の管理・運営に限る) 4 外部漏洩放射線量/管理装置等の測定実務・管理 5 スマート法による汚染状況の測定実務・管理 6 作業環境測定実務・管理(非密封放射性同位元素の使用に係る測定) 7 サーベイメーター・線量校正 8 個人外部被ばく線量管理 9 個人内部被ばく線量管理 10 教育訓練(衛生法第22条関係)または特別の教育(電離放射線の本質)の実施 11 施設内での依頼員への放射線安全教育等の実施 12 許認可申請(施設運営能力計算を行なった場合) 13 医療監視(行なう報告・医療監視料金負担) 14 施設環境測定計画書および結果報告書(医療監視非負担施設) 15 行政機関等による立ち入り検査等の報告 16 被ばく線量測定と医療被ばくガイダンスによる検査活動 17 施設訪問調査(アドバイス等の活動) 18 放射線災害警防災計画への参画・関与 19 放射線災害警防災訓練への参加 20 放射線障害を伴うたは伴う恐れのある災害および事故等に従事 21 市民を対象とした放射線についての公開講演の開催 22 健康祭等における放射線被ばく等の啓発活動 23 常設あるいはホームページへの放射線相談窓口開設による対応	レ 1 レ 2 レ 3 レ 5 レ 7 レ 4 レ 6 レ 8
---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------

### R1室表面汚染密度測定結果 平成24年6月1日



測定期	日放 一郎	
測定期器	TGS-133 GMサーベイメーター (アロカ)	
測定期器測定数	10回	
B.G.計測値	90	
被ばく限界値	69.7	

註: 計測ポイントにおいて測定値が (1) 式を超えたものを有効な測定と考える。

No	全計数率 (cpm)	正味計数率 (cpm)	備考 (測定していた時の状態)
①	90	0	
②	90	0	
③	90	0	
④	90	0	
⑤	240	150	TGS汚染か
⑥	160	70	障壁
⑦	90	0	
⑧	90	0	
⑨	90	0	
⑩	90	0	
⑪	90	0	

管理実績(2)	1 運営被ばく低減施設認定 施設勤務者					20/年
	2 レントゲン手帳運用施設 施設勤務者					20/年
(添付資料不要)						
II 研修実績 (添付資料 必要)	1 放射線管理士分科会活動(都道府県部会活動を含む) ①講習会等参加 ②講習会等講師					1/時間 30/時間
	2 日本放射線公衆安全学会 ①講習会等参加 ②講習会等講師					1/時間 30/時間
	3 日本放射線カウンセリング学会 ①講習会等参加 ②講習会等講師					1/時間 30/時間
	4 行政機関等が委託した機関としてはそれに準じた団体等による講習会等 ①講習会等参加 ②講習会等講師					1/時間 30/時間

年20カウント×5年=100カウント → 更新!

1.申請内容		項目	2008	2009	2010	2011	2012	付与カウント
1 管理実績(1) (添付資料 必要)	1 放射線設扱主任者選任(施設責任)	✓23	✓23	✓23	✓23	✓23	付与: つづき10 年	
	2 放射線取扱副主任者(施設責任)							
	3 安全管理責任者、施設管理責任者(放射線施設の管理・運営に係る)							
	4 外部漏洩放射線量(管理区域等)の測定実務・管理	✓18	✓19	✓21	✓21	✓22		
	5 スマ法による汚染状況の測定実務・管理	✓32	✓34	✓35	✓36	✓37		
	6 作業環境測定実務・管理(非密封放射性同位元素の使用に係る測定)							
	7 サーバイサーーター校量校正							
	8 周人外部被ばく線量管理	✓4	✓5	✓6	✓7	✓8		
	9 周人内部被ばく線量管理							
	10 教育訓練(障害法第22条同様)または特別の教育(電気則第62条の5関係)の実施							
	11 施設内での他職員への放射線安全教育等の実施							
	12 許認可申請(施設過蔽能力計算を行なった場合)							
	13 医療監視に係る報告(医療監視対象施設)							
	14 施設安全管理計画書および結果報告書(医療監視対象施設)							
	15 行政機関等による立ち入り検査等の報告							
	16 被ばく線量測定と医療被ばくガイドラインによる検証活動							
	17 施設訪問測定ならびにブロイズ等の活動							
	18 放射線灾害等防災計画への参画・関与							
	19 放射線灾害等防災訓練への参加							
	20 放射線障害を作り主たは作り恐れのある災害および事故等に従事							
	21 市民を対象とした放射線についての公開講演の開催							
	22 健康祭等における放射線被ばく等の啓発活動							
	23 常設あるいはホームページへの放射線相談窓口開設による対応							

# メッセージボード

平成26年6月現在

## 東部地区

### ◎経過報告

H26/03/8

第52回東部地区会通常総会

H26/04/24

第1回幹事会

「沼津市立病院」

出席者14名

① 今年度地区幹事紹介

② 静岡県放射線技師会報告事項

③ 平成26年度地区会事業計画について

④ 第3回公益社団法人静岡県放射線技師会定期総会について

⑤ 第19回静岡県放射線技師学術大会について

H26/05/21

第2回幹事会

「沼津市立病院」

出席者15名

① 静岡県放射線技師会報告事項

② 第3回公益社団法人静岡県放射線技師会定期総会について

③ 第19回静岡県放射線技師学術大会について

④ 東部地区ふれあい広場について

⑤ 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナーについて

H26/06/13

第1号地区だよりの発行

### ◎行事予定

H26/07/19

東部地区会レクリエーション

ボウリング大会（柿田川パークレーンズ）

H26/09/11

第3回幹事会

H26/10/23

第4回幹事会

H26/11/15

東部地区会ふれあい広場

(沼津市市民公開講座に参加。放射線検査の紹介、画像展示、検査に関する相談など)

H26/11/22

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

(会場・沼津市立図書館 講座室)

## 中部地区

### ◎経過報告

H26/3/3

第2回放射線セミナー

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会『放射線セミナー』

“超音波のすすめ”

講師 中村 元哉 先生

『胃がん検診エックス線撮影従事者講習会』

“知って損はない 胃がんの基礎知識”

講師 伊藤 宏明 先生

H26/4/23 第1回幹事会（静岡市立清水病院）

出席者 11名（地区幹事+県副会長）

① 地区会長挨拶

② 新役員自己紹介

③ 県技師会理事会報告

④ 連絡網の整備について

⑤ 幹事の役割分担について

⑥ 今年度の事業計画について

⑦ 地区会ニュースの発行について

⑧ その他

## ◎行事予定

H26/ 7

地区会News 夏号 発行

H26/ 9 / 4

第2回 幹事会（静岡市立清水病院）

H26/ 9 / 27

第1回放射線セミナー

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

詳細未定

レクレーション（ボウリング大会）

## 西部地区

## ◎経過報告

○H26/ 3 / 1

平成25年度静岡県放射線西部地区会総会

第3回 西部地区勉強会

第2回 胃がん検診講習会

『浜松TKPアクトタワーカンファレンスセンター25階』  
参加者39名

プログラム

第3回 西部地区勉強会

『CTインジェクター：Stellant+Certegra

Workstationの製品説明』

バイエル薬品（株）ラジオロジー&  
インターベンショナル事業部

西日本エリア 学術担当 中川裕幸 先生

『荷重撮影のX線計測と足部画像読影』

奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部

副技師長 安藤英次 先生

第2回 胃がん検診講習会

『Helicobacter pylori治療における最前線』

浜松医科大学 第一内科（消化器内科）

助教 杉本光繁 先生

H26/ 4 / 22

第1回静岡県放射線西部地区会幹事会（委員含む）

「聖隸健康診断センター」  
参加者22名

① 会長挨拶

② 役員自己紹介

③ 事業計画について

## ④ 各委員会報告

H26/ 6 / 10

第1回静岡県放射線西部地区会幹事会

「聖隸健康診断センター」 参加者10名

① 会長報告

② 県技師会報告

③ 各委員会報告

④ 庶務・会計報告

## ◎行事予定

### ○勉強会

H26/ 6 / 21

平成26年度 第1回静岡県放射線西部地区会  
勉強会 「浜松商工会議所」

プログラム

第1回 西部地区会勉強会

『造影剤の副作用とリスク管理について』

第一三共株式会社 東海支店

造影剤担当 佐々木 達 先生

『心房細動アブレーションの現状と展望』

浜松医科大学 第三内科

助教 漆田 育 先生

第1回 放射線セミナー

『交通外傷診断における診療放射線技師の役割』

順天堂大学医学部附属静岡病院

放射線科 平入 哲也 先生

H26/11/15

平成26年度 第2回静岡県放射線西部地区会

第2回静岡県放射線西部地区会勉強会

「浜松商工会議所」

プログラム（未定）

### ○社会活動

H26/ 9 / 7

第5回可美公園まつり（健康ブース）に参加

### ○レクリエーション

H26/ 8 / 3 (未定)

### ○編集

西部TIPS発行（3回／年） 第1号を7月に配  
信予定

## 本会の歩み

(平成26年2月1日～平成26年3月31日)

H26/2/1

東部地区会

第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会

第2回 放射線セミナー

富士交流センター

会員77名・非会員2名参加

H26/2/6

企画調査委員会 技師会事務所

秋山・七尾・玉田・児玉・橋本

H26/2/8

第23回乳腺画像部会・第60回超音波部会

合同研修会 藤枝市立総合病院 講堂

会員24名・非会員8名・部会員6名参加

H26/2/13

平成25年度静岡県原子力防災訓練

草薙総合運動場体育館 会員3名参加

静岡県原子力防災情報伝達訓練実施

H26/2/13

第21回 常任理事会 技師会事務所

和田・田沢・森・山本・三浦・畠・片山

西谷・島田・鈴木・佐々木

H26/2/15

第39回MRI部会・第41回アンギオ部会

合同研修会 静岡第1ホテル

会員45名・非会員10名・一般4名参加

H26/2/16

第55回 東海四県学術大会

和田・山本・田沢・森・片山(善)・畠・

山田・高山・落合・鈴木・天野・西谷・

江口・小泉・三浦・寺田・高橋・内田・

山中・島田・片山(昇)・佐々木

浜松アクトシティコングレスセンター

会員200名・非会員21名参加

H26/2/21

第3回 学術委員会 技師会事務所

片山(善)・平入・飯塚・高橋・大川・長屋・  
中村・天野・有谷

H26/2/22

第4回 理事会 技師会事務所

和田・田沢・森・山本・三浦・畠・片山(昇)・

西谷・島田・鈴木・佐々木・玉田・児玉・

寺田・片山(善)・秋山・倉田・近藤

理事16名・監事2名出席

H26/2/27

65周年記念誌 編集委員会

山本・田中・天野・望月・橋本・島田

H26/3/1

西部地区会

第3回 西部地区勉強会

第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会

平成25年度西部地区会総会 会員61名参加

H26/3/4

第7回 編集委員会(初稿)

島田・片山・鈴木・三輪・大瀧・稻垣

H26/3/8

東部地区会

平成25年度東部地区会総会

H26/3/8

中部地区会

第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会

第2回 放射線セミナー

平成25年度中部地区会総会 もくせい会館

会員45名・非会員7名参加

H26/3/10

65周年記念誌 編集委員会

山本・田中・望月・橋本・島田

H26/3/13

第22回 常任理事会 技師会事務所

和田・田沢・森・山本・三浦・畠・片山・

西谷・島田・鈴木・佐々木

H26/3/11

第8回 編集委員会(2校)

島田・片山・鈴木・三輪・稻垣

H26/3/15

平成25年度 静岡県放射線技師研修会

和田・田沢・西谷・秋山・七尾・玉田・  
江口・高山・児玉・橋本  
静岡産業経済会館

会員50名・非会員11名参加

H26/3/17

65周年記念誌 編集委員会

山本・田中・天野・島田

H26/3/20

第3回 災害対策委員会・企画調査委員会・

管理士部会 3会合同会議

田沢・望月・児玉・高山・秋山・玉田・  
江口・橋本・榛葉 技師会事務所

H26/3/27

中部地区・新旧常任理事引継ぎ会

森・三浦・畠・片山・西谷・島田・八木・  
鈴木(健)・薄田・酒井・柴田 技師会事務所

H26/3/28

編集委員会(しづおかジャーナル発送作業)

島田・片山・鈴木・大瀧・田沢・森・三浦・  
畠・西谷

H26/3/29

肺がん検診従事者講習会

和田・田沢・三浦・西谷・島田  
もくせい会館 医師8名・技師8名参加

萩原 佑美 順天堂大学医学部附属

順天堂静岡病院

中西 孝文 沼津市立病院

中部:田村 勇人 医療法人沖縄徳洲会  
榛原総合病院

近藤 方司 静岡済生会総合病院

桜井 八郎 社会保険 桜ヶ丘総合病院

村田 憲昭 社会保険 桜ヶ丘総合病院

岩谷 篤 医療法人沖縄徳洲会

榛原総合病院

安藤 孝雄 焼津市立総合病院

西部:菅野 敏彦 県西部浜松医療センター  
附属診療所

【勤務移動】3名

東部:中島 英之 自宅

←順天堂大学医学部附属順天堂静岡病院

中部:三輪 則夫 自宅 ←静岡済生会総合病院

杉山 祯 自宅 ←焼津市立総合病院

【氏名変更】2名

西部:池田 安奈 ←彦坂 安奈

磐田市立総合病院

遠藤 美咲 ← 大形 美咲

社会福祉法人聖隸事業団

総合病院聖隸浜松病院

## 会員動静 (敬称略) (平成26年2月1日~平成26年3月31日)

### 【転出】2名

中部:大島 治泰 静岡てんかん神経医療センター  
→岐阜県診療放射線技師会へ  
西部:小野 孝明 浜松医療センター  
→愛知県診療放射線技師会へ

### 【退会】10名

東部:石垣 絵美 JA静岡厚生連

リハビリテーション中伊豆温泉病院

### 【電報】

東部:加藤 学

結婚祝電

西部:鴨川 真也

結婚祝電

会員総数 815名

東部 254名

中部 252名

西部 309名 (平成26年3月31日現在)

# 本会への寄贈図書

(平成26年2月1日～平成26年3月31日)

- 2/3 放射線やまぐち 2014 Vol.249  
2/3 富山県放射線技師会報 Vol.77 2014  
2/4 東京放射線 2014年2月 Vol.61 No.714  
2/4 会報MART第81号 宮城県放射線技師会  
2014.1 vol. 115  
2/17 会誌 No.33 2014. 2  
岡山県診療放射線技師会  
3/3 東京放射線 2014年3月 Vol.61 No.715  
3/6 HART vol. 73-3 2014.3.1  
兵庫県放射線技師会  
3/10 福岡県診療放射線技師会誌 第324号  
Feb 28. 2014 No. 5  
3/19 愛知県診療放射線技師会誌  
第152号 法人設立25周年  
公益社団法人移行記念特集号  
3/28 愛媛放射線 No.81 2014  
3/28 岩手県放射線技師会IART  
No.40 2014. 3 MARCH  
3/31 創立60周年 法人設立35周年記念誌  
H26/3/25 鳥取県診療放射線技師会

## 平成26年度 第1回 理事会 議事録

1. 開催日時 平成26年4月19日（土）  
14時～17時
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所  
静岡市葵区本通1丁目3番地5  
フェリス本通り202号
3. 理 事 16名 監事 2名
4. 出 席 者  
和田 健、田沢範康、山本英雄、森 佳久、  
三浦孝夫、畠 利浩、片山 昇、西谷収利、  
島田洋一、佐々木幹晴、鈴木博寿、玉田宏一、  
児玉吉彦、寺田理希、秋山 洋、片山善博、  
倉田富雄（監事）、近藤 仁（監事）  
欠席者：田中睦生 敬称略

### （1）会長あいさつ

平成26年度第1回理事会を開催いたします。平成24年4月に公益社団法人の移行認定を受けてから3年目の事業年度に入っております。現執行体制の任期は来月の定時総会終了までと明記されています。理事・監事・賛助会員・会員の皆様のご支援・ご協力を賜りまして平成25年度の事業も悉く終了することができました。平成26年度も今までの反省を踏まえ、公益法人として、医療の担い手として、また職能団体として県民の健康増進の医療推進に邁進したいと思っております。本日の新聞紙上にも医療事故の報道が大きく掲載されておりました。チーム医療の一員として放射線検査に関して安心・安全な医療を提供することが診療放射線技師の責務であると思います。静岡県では大きなアクシデントは報告されておりませんが、豊富な知識の上に慎重な業務の遂行が望まれます。

本日も多くの内容がありますので円滑に進めていきたいと思います。

定款第34条第1項により、和田会長が議長に就

任いたしました。

定款第36条第4項により、議事録作成人 畑常任理事が指名されました。

## (2) 報告事項

### ① 会長報告 和田会長

平成26年度第1回常任理事会報告

・新入会者が非常に少ない

新人教育セミナー（日報技からの委託業務）を開催しているが、今年度は6月15日に技師会事務所で開催予定

内容は、感染対策・医療安全・胸部の解剖・技師会の活動等であるが、毎年参加人数が10名前後であり、全員が入会するわけではない。

各組織・施設の協力の下入会促進を図らなければセミナーを開催しても入会には繋がらない。

・退会者が非常に多い

理由は「会費が高い」「メリットが無い」ということが挙げられている。

前回の理事会で承認され5月の総会で審議されますが、会費の減額を提案している。

減額承認後の退会の動向を注視したいと思う。

・公益目的事業について

県民に対する医療の啓発活動と同時に放射線技師としてのスキルアップ・最新情報の習得等について企画していかなければ、安心・安全な医療の提供はできないと思われる。

県民参加型の事業を推進する意味で広報活動のあり方を検討していかなければならない。

報道機関への広報は行っているが、チラシ等を配布するなどの工夫が必要。

・5部会1委員会の活性化

各部会熱心に活動を行っていただいておりますが、単独部会での研修会開催で参加人数が50名を越すことが非常に厳しい状況

合同部会研修会としても内容によっては参加人数が少ない場合もあるため、会員が参加してみたくなるような企画を立てて広報をすることが

大事。

医療安全委員会も毎年12月にセミナーを開催しておりますが、非常に参加が少ない。

県に実績報告を行っているが、あまりの人数の少なさに非常に心苦しい思いをしている。

医療安全についての情報を各施設で共有していくことが大事と思うので、もう少し委員会活動の活性化を図っていきたい。

県医務課立入検査の結果通知書に関して

改善を要する事項が2点ある

①公益目的保有財産等の状況について（鷹匠のマンション：旧事務所）

売却予定であったため使用していないが、老朽化が激しくリフォームを要求されたがマンションの管理組合が機能しておらず進展しない

検査員2名が現状を観察し県の公益等審査委員会に報告し、審査委員会で協議の結果

「公益目的財産保有とされている不動産のうち、移転前の主たる事務所は遊休化しているため売却の手続きを進めると共に売却までの間は利活用を図ること」

と通達された

また、改善報告書は不要との回答を得ているが、不要な書類等を移動させるなど倉庫として利活用していくことを考慮したい

②法人会計の黒字について

会計処理については東海浜松会計事務所に委託 内閣府や県としては、法人会計は限りなく0円に近いか若しくは赤字となるよう指導

改善要項の結果通知として

「公益目的事業の規模に応じ会費収入を振り分けることで法人会計の黒字が恒常に発生しないように努めること」

と通達された

結果通知書は会計事務所にも送付 対応を依頼した

尚、この点についても改善報告書は不要との回

答を得ている

女性サミット（日本診療放射線技師会）について  
毎年各県1名の女性技師に参加していただき  
「女性サミット」を開催してきた  
来年度からは地域ごと開催することとなった  
今年度本県から参加された方から「女性技師の  
現状について」のアンケートを実施したいが回  
収や文書送付の費用等について質問が寄せられた  
地域理事である佐野愛知県会長に話を振ってある  
が回答はまだ得られていない状況  
ただ、大まかなタイムスケジュールは出来ており、計画に沿って活動は進められていく

日本診療放射線技師会放射線機器管理士部会  
放射線機器管理士部会委員長(九大:中村先生)  
より各都道府県会長宛にメールあり  
「現在放射線機器管理士部会では、放射線関連機器事故・故障調査をはじめ地域研修会開催や機器管理に関する啓発活動を行っております。その中で、更に地域に根差した活動を実践していくためには、各県の診療放射線技師会と連携強化を行い広く協力していくことが必要不可欠と考えております。そこで各都道府県より放射線機器管理連絡委員1名を推薦していただき、分科会等情報を共有して今後の活動展開を行っていきたい」  
推薦人の締め切りは4月30日（メールでの現状報告等が主になる予定）  
医療安全推進委員会を通して放射線機器管理士認定取得者から推薦予定（選考中）

#### 第55回東海四県放射線技師学術大会

(H26.2.16 アクトシティ浜松)

収支決算書をいただいた

収入 参加登録費 240,000円

(会員192名×1,000円 非会員24名×2,000円)

支出 支出合計 939,950円

会場費 233,260円  
講師謝礼 201,527円  
講師交通費 69,033円  
シンポジスト交通費 35,500円  
ランチョン弁当 354,000円 (250食)  
プログラム印刷+郵送料 22,480円  
印刷代 24,150円 (名札・参加証)  
エーザイ負担金 (共催メーカー)

699,950円 (939,950円 - 240,000円)

決算書は前年度開催の大会長（三重：山田会長）が監査を行い東海四県の会長に提出する

#### 第30回日本診療放射線技師学術大会

大分県：江藤会長よりメールあり

4/30 演題締め切りであるが、エントリー数18演題（4/1現在）

都道府県会長は会員に向け演題登録を促進して欲しいとの依頼  
幹事会・連絡網を通じて演題登録の促進をお願いしたい。

厚生労働省医政局長からの公文書（県医務課からも同様の通達あり）

「医療法施行規則一部改正省令の施行について」の一部改正について

1. 放射化物が障防法の規制対象に追加に伴う対応

2. X線診療室の漏洩線量の算定評価法の技術進歩に伴う対応

日放技ホームページにも掲載されている

#### 日本放射線技師連盟（北村理事）より

畠元 将吾氏の講演会に200名ほどの参加者があったことへのお礼

総会等にもスケジュールが合えば畠元氏がご挨拶に回ること

参院選への出馬予定であるため選挙支援をお願いしたいとのことである

和田会長 会長・副会長報告の中でご質問があれ  
ばお受けいたします → なし

## ② 副会長報告

東部：田沢副会長

・委員会報告

### I 災害対策委員会

H26.3.20 第3回 3会合同会議開催  
H26.3.2 日放技災害対策委員会（原  
発立地県14名）参加

### II 生涯教育委員会

H26.9.7 技術講習会開催予定  
於：中東遠総合医療センター  
日放技主催 基礎技術講習 今年度MRI  
担当（昨年度CT）  
アクトシティにて開催  
講師等はMRI部会と調整中

中部：森副会長

・特に報告事項はありません

西部：山本副会長

・各部会の収支報告が揃っていないので、次回に  
報告する  
・65周年記念誌委員会より 既に発送済  
費用合計 1,466,524円 (配送料込・税込)  
松本印刷に委託

## ③ 常任理事報告

総務：三浦理事

・総会・学術大会の旅費については、施設で出  
していただける場合にはメールで報告をお願いし  
たい。  
・組織図が渡っていない方がおりましたら連絡し  
ていただければ配信する。

総務・庶務：畠理事

・情報は全て会務メールに流すので、アドレス・  
パスワードの引き継ぎをお願いしたい

庶務一般：片山理事

・新入会・転入会が無かったので承認事項はなし  
・備品台帳を作成 毎年3月31日〆で台帳をファ  
イルしていく

庶務会員管理：西谷理事

・今年度は日放技との合算請求はしない  
県の会費は総会で減額の承認を受けた後請求書  
を発送（9月30日納入期限）  
・2年未納の会員には日放技より2年分の会費請  
求が届く。県技師会からも別途2年分の請求が  
届くので速やかに納入していただきたい  
ただし、前年度の振込用紙で入金すると不明金  
となり照合に時間がかかるので注意  
・昨年度ワイヤレスマイク・ワイヤレスアンプス  
ピーカーを購入した  
会員管理が管理するので事務所から持ち出す際  
には報告をお願いしたい  
・日放技より  
3月下旬よりJART情報システムが新しく稼働  
した  
入会について変更があり、仮会員が設けられた。  
入会申請後会費を納入しなければ会員IDが發  
行されず、仮会員のまま一定期間経過した場合  
非会員扱いとなる（要再申請）  
・業務委託料124,800円 (H25.9.30会費完納者数  
624名×200円) 入金 (H26.3.31)  
・会員数 815名 (3.31現在) 未納者 62名 (2.28  
現在) 納入率 92.4%

和田会長：組織理事におかれましては幹事会等で  
会費納入の促進をお願いしたい  
県の会費減額が承認された後請求書を  
発送するので、速やかに納入してほしい  
納入期限は9月30日なので期限厳守で  
お願いしたい

会計：佐々木理事  
・65周年事業収支の報告  
積立金 4,000,000円  
支 出 2,843,684円  
(式典:996,825円、記念誌:1,467,049円)  
残 高 1,156,316円 一般会計へ繰り入れ

編集：島田理事  
・H26.3.28 ジャーナルvol.23 No 3 発送  
・H26.4.30 議案集発送予定  
・H26.7.25 抄録集・ジャーナルvol.24 No 1 発送予定  
・ジャーナルNo.1に新役員顔写真・挨拶を掲載予定 写真撮影にご協力を

広報：鈴木理事  
・議案集発送に合わせて総会のポスターを発送する

和田会長  
常任理事報告の中でご質問があればお受けいたします → なし

#### ④ 地区選出理事報告

東部：玉田理事  
・H26.3.8 東部地区会総会開催  
・H26.4.24 第1回幹事会  
・H26.5.22 第2回幹事会  
・H26.7.19 東部地区会レクリエーション  
・H26.9.11 第3回幹事会

中部：児玉理事  
・H26.3.8 第2回放射線セミナーおよび第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会  
静放技会員45名 非会員7名 計52名  
・H26.3.8 平成25年度 中部地区総会

西部：寺田理事  
・H26.3.1 第3回勉強会（放射線セミナーおよび胃がん検診従事者講習会）  
ふれあい広場（友愛広場）の日程が未定

⑤ 常設委員会理事報告  
学術：片山理事  
・特にありません  
企画調査：秋山理事  
第4回 企画調査委員会開催（H26.3.20）  
平成25年度静岡県放射線技師研修会開催（H26.3.15）  
アンケート調査については既にジャーナルに掲載済み  
収支実績のみ報告  
収入 8,000円(非会員×4名) 支出 71,382円  
差引 63,382円

表彰審査委員会（和田会長）  
H26.4.26 表彰審査委員会開催  
35年永年勤続表彰 20年永年勤続表彰 役員表彰等について話し合う

⑥ 監事報告  
倉田監事  
・特にありません  
近藤監事  
・特にありません  
石川事務員：報告事項なし（15:00）

（3）協議事項（15:15）  
① 第3回 定時総会 議案及び日程承認の件  
和田会長  
総会は次第に沿って行う  
表彰 35年永年勤続表彰 20年永年勤続表彰  
役員表彰  
報告 平成25年度事業報告及び同附属明細書報告  
平成25年度監査報告  
議案については本理事会での承認が必要

第1号議案 平成25年度計算書類等一式承認について  
佐々木理事  
資産 流動資産 2,001,673円

固定資産	29,393,045円	た金額を積み立てて事業を行っていく
資産合計	31,394,718円	となる
正味財産増減計算書	減価償却を加味した計算書	計算書類等について質問はありませんか？
財産目録	資産の詳細が記載されている	→ 質問なし
取支計算書		
事業活動収入	決算額 12,100,264円	理事会承認を採決します
投資活動収入	決算額 4,115,326円	反対 0名 保留 0名 賛成 16名
事業活動支出	決算額 12,786,962円	(全会一致承認)
投資活動支出	決算額 1,839,889円	
事業活動収支	決算額 -686,698円	第2号議案 平成26・27年度理事・監事候補者承認の件
投資活動収支	決算額 2,275,437円	和田会長
前期繰越金	412,934円	理事・監事候補者は定数を満たしているので総会での承認が必要
当期差額	1,588,739円	役割分担については総会承認後の臨時理事会で決定する
次期繰越金	2,001,673円	総会議事録には、候補者の就任が承認された件を明記し記名・押印をしない状態で会計事務所に送付する（司法書士のチェックを受ける）
和田会長：補足		校正済みの議事録に記名・押印（会長印は公益法人公印）をする
会計基準は新公益法人会計基準を適用している		
固定資産については減価償却の方法で行っている		
消費税の会計処理は税込み方式で行っている		
流動資産の1,156,316円は65周年事業の残金であり、今後の公益事業に使っていく		
繰越金は200万円強であるが、3月に会費が日放技に納入されていた場合、4月に県に入金されるので、200万+αになると思われる		
現在事務所営繕取得準備預金が4,512,059円あり、これに毎年439,634円積み立てていくこの先建物の老朽化等により事務所を移転する場合、この積立金を利用する		
修繕費も積立金から拠出する（当期は115,071円をエアコン修理に充てた）		
記念式典については通年事業として公益目的事業に入れてある（県の指導）		
周年事業の際には数年前から事業に見合つ		
和田会長：平成26・27年度理事・監事候補者承認について採決を行います		
		反対 0名 保留 0名 賛成 16名
		(全会一致承認)

第3号議案 平成26年度正会員年会費減額承認の件

和田会長

現在年会費は1万円であるが、改正案としては年会費を8,000円に減額したい

減額することは前回理事会で承認されておりま  
すが、金額を8,000円と設定しましたのでこの金額に対する承認をいただきたいと思います

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

和田会長

諸規程の中で、地区会選出理事・理事会選出理  
事・監事の順にそれぞれ採決を行うことと明記  
されている

本来ならば1人1人に対して採決すべきである  
が、時間の都合上反対・保留に挙手された方に  
は紙を渡して承認できない方の氏名を記入して  
いただく

(氏名は議案集に掲載 はがき採決の方ははが  
きに氏名を記入する)

飯塚選舉管理委員長

ご異存がなければ和田会長からご説明ありま  
した方法で採決を行いたいと思います

和田会長

はがきの集まりが悪いので期限厳守で投函する  
よう呼びかけていただきたい

和田会長

定時総会は平成26年5月25日 静岡商工会議所  
5階ホールで9:30から開催する  
日程及び議案について理事会採決を行いたいと  
思います

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

三浦理事

進行表に若干の訂正があります。(「通常総会」  
は正しくは「定時総会」等)  
氏名の読み方に間違いがあればお知らせください

児玉理事

議長の選出に関して指名順は考慮しなくてもよ  
ろしいでしょうか?

総会の進行について報告は総合司会が進行して  
よろしいでしょうか?

進行表にて肩書が「会員」と「常任理事」が混  
在していますがよろしいでしょうか?

和田会長

議長の指名順に特に決まりはありません

報告の進行は総合司会にお願いします

肩書は前回と同様で構いません

児玉理事

第2号議案についてですが、地区会選出理事・  
理事会選出理事・監事候補それぞれについて採  
決をしますが、可決・否決の結果は最後にまと  
めて報告でよろしいでしょうか?

和田会長

それで良いと思います

児玉理事

学術大会についてですが、超音波の演題が1題  
取り下げられたため終了時刻を10分詰めた進行  
表になっていますが、休憩等を入れて時間調整  
しますか?

片山(善)理事

終了時刻の訂正是ジャーナルには間に合いませ  
んでしたが、議案集は訂正されています

児玉理事

会場レイアウトについてはいかがでしょうか?  
予めレイアウトを会場に伝えておけば当日朝に  
はその通りに並べておいていただけること  
ですが…

和田会長

実際の運用に支障なければ資料通りのレイアウ  
トでよろしいのではないかと思います

臨時理事会の場所は控室を使用してもよろしい  
でしょうか?

児玉理事

質疑応答の別室として押えてあったのですが…

和田会長

現在では会場内で個別に質問することが多いようで、別室を使用することはほとんど無いように思います

寺田理事

昨年は質疑応答用の別室は設けませんでした

児玉理事

それでは控室をお使いいただいて構いません  
机等の配置はいかがしますか？スクール形式で  
よろしいでしょうか？

和田会長

中部地区の役員の方も使われるでしょうからス  
クール形式のままでいいと思います

児玉理事

講師には講師控室をご用意してあります

和田会長

臨時理事会の開催のアナウンスを入れるように  
しておいてください

最後に時間的余裕があれば臨時理事会での役割  
分担の結果を公表し一言ずつ挨拶をしたいと思  
います（余裕がなければ会長のみ）

寺田理事

昨年表彰を受ける方が会場に来ていないという  
ことがありましたが、そのようなことが無いよ  
うに手配していただきたい

和田会長

出欠の確認は採っておりますが、昨年は時間を  
勘違いされたらしい

寺田理事

採決は賛成・反対・保留の人数を数えて報告す  
るということでおろしいでしょうか？

和田会長

採決係の方は大変とは思いますが、担当する列  
の人数を正確に数えてください

総会が始まりましたら受付担当は会場に誰も入  
れないようにしてください

議案によって総人数が違うことがあってはなり  
ません

寺田理事

第2号議案で反対・保留の方には紙を渡すと言  
いましたが、渡すのは採決係が担当するので  
しょうか？

飯塚選挙管理委員長

選挙管理委員会が担当します

森副会長

アナウンサー台本において、…技師会総会では  
なく…技師会定時総会に、また学術大会に「公  
益社団法人」は不要だと思います

児玉理事

訂正した台本を配信します

山本副会長

質疑応答の際には会場係がマイクを持って質問  
者の元に駆けつけるのでしょうか？

森副会長

ワイヤレススタンドマイクがおけると思います

児玉理事

会場に確認しておきます（2本くらい用意する  
予定）

公開講演の演壇は学術大会の時の演壇と同じで  
よろしいでしょうか？総会の際使用する大きな  
演壇もありますが…

和田会長

会場設定の時間等を考慮すると、学術大会と同  
じでいいと思います

寺田理事

スライド受け付けはどこになるのでしょうか？

児玉理事

会場レイアウトにおける入り口の3連卓が受け  
付けですが、その一角をスライド受け付けにし  
たいと思っております

寺田理事

発表スライドはUSBメモリで持参していただく  
のでしょうか？講師の先生はパソコンを持参さ  
れると思われますが…

児玉理事

USBメモリを持ってきていただきたいと思いま

すが、問題は動作確認用のパソコンが不足しています

以前はメーカーにお借りしたりしていたのですが、セキュリティが厳しくなりUSBが使用しにくい状況となっています  
会場ではお借りしておらず技師会にも2台しかありません

寺田理事

技師会の1台は受付用で1台は講演用とすると確認用のパソコンが不足しているということですね

児玉理事

地区会のパソコンは使えますか？

寺田理事

動作環境が違すぎるとき確認にならないません

児玉理事

学術から動作環境についての広報はされていますか？

片山（善）理事

power point 2010で作成するよう広報してあります

和田会長

詳細についてはもう少し詰めておくようお願いします

## ② 平成25年度監査報告承認の件

近藤監事

- ・本日（4/19）技師会事務所にて監査を実施し、適正に処理されていることを報告します
- ・公益目的事業比率が73.6%であり、昨年度より若干アップしております

和田会長

監査意見にも記載されていますが、会費納入期限9月30日までの完納を会員に呼びかけていただきたい

監査報告は総会で報告していただきます

本理事会には特別に新理事・監事候補の皆様にもお集まりいただきました。

旅費規定等について会長からご説明がありました。

理事・監事候補者から一言ずつご挨拶をいただきました

任期の終了となる理事・監事に対して和田会長から感謝の言葉をいただきました

次回理事会は平成26年8月30日（土）14:00～静岡県放射線技師会事務所

\*議長が、ほかに報告事項、協議事項がないか諮ったところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し16時30分閉会した。

平成26年4月26日

# 第3回 (公社)静岡県放射線技師会総会 議事録(抄)

場所：静岡商工会議所会館 5階ホール  
日時：平成26年5月25日(日) 9時30分～10時50分

理事16名 監事2名 議長2名

出席者：和田 健、田沢 範康、森 佳久、  
山本 英雄、三浦 孝夫、畠 利浩、  
片山 昇、西谷 収利、佐々木幹晴、  
島田 洋一、鈴木 博寿、玉田 宏一、  
秋山 洋、児玉 吉彦、寺田 理希、  
片山 善博 出席16名  
倉田 富雄（監事）、近藤 仁（監事）  
出席1名  
利 旭央（議長）、外崎 好洋（議長）  
出席2名

議事録作成者：酒井 公敏

## 《次 第》

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 表 彰
4. 報 告
  - ・平成25年度事業報告及び同附属明細書報告
  - ・平成25度監査報告
5. 議長団選出
6. 議 事
  - 第1号議案 平成25年度計算書類等一式承認の件
  - 第2号議案 平成26・27年度理事・監事候補者承認の件
  - 第3号議案 平成26年度正会員年会費減額承認の件
  - 第4号議案 その他
7. 議長団解任
8. 閉会の辞

## 1. 開会の辞

総合司会 (望月 浩正 総会運営委員長)

定刻になりましたのでご着席下さい。携帯電話の電源はお切りになるかマナーモードでお願いします。

ただ今より、「第3回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会」を開催します。

はじめに、和田 健 会長から挨拶があります。

## 2. 会長挨拶

和田 会長

皆様おはようございます。公益社団法人に移行しまして2年目の総会ということで今日開催をすることになりました。本年の1月30日に県の医務課・法務文書課の検査員によります公益社団法人静岡県放射線技師会としての立入検査を行いました。その中で、旧事務所は現在空室になっておりますが、管理・運営について指摘を受けました。

公益社団法人を申請する際に、旧事務所の購入希望の方がおりましたので、リフォームの話を進めておりました。しかし、その当時、この建物の管理組合が弱体化しており、管理組合の組織を改革していくないとリフォームの話もなかなか進まないという経緯がございました。耐震工事もしておりますし、また、外壁の一部の老朽化もすすんでおります。そのような状況を県の検査員の方には説明させていただきましたが、現場を見せてほしいとのことで副会長同行のもと、旧事務所をご覧になっていただきました。最終的に、報告書のなかで、旧事務所については早急に売却をするような方法で進めていただきたい。また、売却されるまでの期間は利活用していただきたいという

ことでした。我々としては、倉庫として利活用するように今後話を進めていきたいと考えております。

さて、話を医療の方に向けてみると、平成26年度診療報酬改定の基本方針が厚生労働省より提示され、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等、地域において患者を支える機能が地域の実情に応じたネットワークを構築し、地域全体で地域の医療需要に応えていく「地域完結型」の医療提供の必要が謳われています。

「地域完結型」ということになりますとその医療に携わる医療人のマンパワーが十分充足しているかというところが非常に大きな問題になってきております。医療を動かすにはそれに働いていただく医療人が十分な環境のもとに医療の中で貢献できなくては患者サービスというのが当然低下するわけですけども、その中でチーム医療の推進というのが強く謳われています。日本診療放射線技師会も今後いろいろな法律の改正を考えております。例えば、CT・MRI検査の造影剤注入後の抜針・止血、読影支援、放射線業務士の新設などがあり、今後、関係団体と協力して調査をして進めていきたいというのが日本診療放射線技師会の方向であります。我々は、いろいろな研修会や学術大会、地方の学会等に積極的に参加して、自分の技術のスキルアップを常に行って、新しい情報を得て、それを共有することによって、県民の健康の為に出来ることを十分に果たすことが重要であると考えます。新聞によると、2015年から、介護福祉士が離職した場合は公的な職業斡旋所に届け出ることを義務付けるというようなことも報道されております。我々の医療界においてスタッフの充足度がとても重要であると思っております。いろいろな機会をとらえて、技術のスキルアップ・医療情報・経営的なノウハウを備えた診療放射線技師になっていただきたいと考えております。

今日1日宜しくお願ひいたします。

### 3. 表彰

#### 望月 総合司会

次に表彰に移らせていただきます。表彰委員長 小池 澄男会員お願いします。

#### 小池 表彰委員長

只今より表彰式を行います。お名前をお呼びしますのでご起立をお願いします。

《永年勤続20年表彰》 24名

《永年勤続35年表彰》 12名

《役員表彰》 13名

### 4. 報告

#### 望月 総合司会

次に報告に移らせていただきます。平成25年度事業報告及び同附属明細書報告を、和田 健 会長お願いします。

#### 和田 会長

##### 平成25年度事業報告

総括といたしましては、今回は創立65周年を迎え、先達の正会員や賛助会員のご支援ご協力そして歴代会長を始め役員の皆様による献身的な会務運営が遂行され今日の発展に至っております。その創立65周年記念式典もご来賓の皆様には何かとご多用のところお繰り合わせの上ご臨席を賜り、また多数の会員の参加により盛大に終えることができました。

公益社団法人に移行後も診療放射線技師の職業倫理を高揚とともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、もって県民の健康維持増進に寄与することを目的として事業内容①として、セミナー等による診療放射線技術向上発展のための研修事業。②として体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業。③として研修・訓練等による放射線管理及び安全推進事業などの公益目的事業は積極的に開催され各種専門部会も活発な情報交換が行われ、その技術を臨床現場に反映することができたと考えます。胃がん検診従事者講習会や肺

がん検診エックス線撮影従事者講習会も、早期発見に向けて更なる技術向上を図るべき研修会を開催したり、各地区ではふれあい広場を利用しての放射線被ばく相談や腹部超音波検査無料体験そして骨密度測定無料体験など多くの県民が参加して自己の健康管理の重要性を再認識する機会もあり、今後も継続事業として取組んでいく所存あります。

診療放射線技師は医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進に向けて「読影補助業務や各種検査に対する説明等」を実施して、医療への受診時の不安解消に努めるとともに医療被ばくの低減化と良質な画像の提供に日々努めてまいりました。

また、チーム医療の一員としての自覚と安心安全な医療の実践そして高度な医療技術の提供を行い、専門職としてのスキルアップを図り、県民の健康保持増進に寄与することができたと考えております。

次に、主な事業活動として公益事業1はセミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業

- ・(公社)静岡県放射線技師会 第18回静岡県放射線技師学術大会
- ・第29回日本診療放射線技師学術大会
- ・第6回中部放射線医療技術学術大会
- ・第55回東海四県放射線技師学術大会
- ・日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」
- ・第3回フレッシャーズセミナー
- ・第13回マンモグラフィ事前講習会
- ・第13回マンモグラフィ撮影技術講習会
- ・肺がん検診エックス線撮影従事者講習会
- ・平成25年度放射線技師研修会
- ・創立65周年記念式典記念講演会
- ・創立65周年記念誌発刊

公益2事業は体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業

- ・新春公開講演会
- ・第34回静岡ふれあい広場
- ・東部地区ふれあい広場
- ・西部地区ふれあい広場
- ・秋季公開講演会
- ・ホームページやFAXによる放射線に関する問い合わせ相談
- 公益3事業は研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業
- ・平成25年度 原子力災害時緊急対策研修会
- ・静岡県原子力防災訓練
- ・静岡県原子力防災情報伝達訓練
- ・第7回医療安全セミナー
- ・静脈注射に関する講習会
- 会員に対する相互扶助事業
- ・表彰事業
- ・(公社)静岡県放射線技師会第22回アール祭その他事業
- ・(公社)静岡県放射線技師会第2回定期総会
- ・(公社)日本診療放射線技師会第73回定期総会会務の報告
- 事業経過報告
- ・東部地区事業報告
- ・中部地区事業報告
- ・西部地区事業報告
- 学術
- ・学術委員会報告
- ・部会報告
- 委員会報告
- ・編集委員会
- ・企画調査委員会
- ・情報管理委員会
- ・生涯教育委員会
- ・災害対策委員会
- 諮問機関
- ・表彰委員会
- ・事業所管理運営委員会
- ・医療安全推進委員会

以上が25年度事業報告、総括並びに詳細の事業活動です。

総会資料7ページをご覧ください。会務庶務報告の会員動静の中で正会員の平成25年度末会員数が815名と記載されております。その中で、新入会32名 再入会2名 転入会5名 転出7名 退会24名 資格喪失者 5名 ということで815名となります。例年、退会ならびに資格喪失者の数字が少なくなりません。

特に資格喪失者というのは会費を2年以上納めていないと資格が喪失します。我々は、是非こういう数字が少なくなるように各会員の皆様には、会費の納入期限を守っていただきたいと考えます。

以上でございます。

#### 望月 総合司会

続きまして、平成25年度監査報告を近藤 仁 監事お願いします。

#### 近藤 監事

平成25年度の監査を平成26年4月19日に倉田監事とともに行いました。

貸借対照表及び正味財産増減計算書は、定款に従い、会の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。事業については、厳しい財政での事業であり会員一人ひとりの一層の努力で実のある事業になることを望みます。会費納入については、事業を円滑に遂行するため年度当初の納入を切に希望します。また、遅くとも会費納入期限9月30日の完納を望みます。事業費用に占める公益事業比率は73.6%でした。今後も公益比率の維持を望みます。役員の職務遂行に関する不正の行為または定款に違反する事実は無かったことをご報告させていただきます。

#### 望月 総合司会

総会終了まで会場の出入り及び席の移動はご遠慮ください。なお賛助会員の方はご退席下さい。それでは議事に入りたいと思いますが、議長の選任につきまして、いかがお取り計らいましょう。

《 会場より司会者一任の声あり。 》

#### 望月 総合司会

司会者一任の声がありましたので、こちらより指名させて頂きます。それでは、東部地区より富士宮市立病院 利 旭央 会員、西部地区より聖隸三方原病院 外崎 好洋 会員。この2名の方にお願いします。

#### 5. 議 事

##### 外崎 議長

ご指名いただきました私は、聖隸三方原病院 外崎 好洋です。宜しくお願いします。

##### 利 議長

富士宮市立病院 利 旭央です。宜しくお願いします。

##### 外崎 議長

それでは、本日の総会の資格審査を本部より報告お願いします。

##### 玉田 宏一 総会運営委員

それでは資格審査委員より本日の定期総会成立に関しまして、ご報告いたします。

定款第18条には、現会員数796名の過半数をもって総会の成立が定められております。10時10分現在、出席者80名、表決状457名であり、出席者・表決状の数が定款に定められた過半数を満たしておりますので、本総会の成立をここにご報告いたします。

##### 外崎 議長

本部より本総会の成立が報告されましたので、これより議事にはいりますが、ここで、総会運営委員の任命を致します。すでに決定しておりますので紹介します。

##### 書記

片山善博 会員

##### 採決係

寺田 理希 会員

玉田 宏一 会員

##### 議事録署名人

西谷取利 常任理事

### 片山 昇 常任理事

となっておりますが、会員の皆様よろしいでしょうか。拍手をお願いします。以上よろしくお願ひいたします。

進行は総会次第に則り、第1号議案を外崎 好洋が、第2号議案から第4号議案までを利 旭央が担当いたします。本総会ではそれぞれの議案について質疑応答と採決をすることといたします。表決は表決ハガキの採決結果報告に続き、会場採決を行います。反対・賛成・保留の順に伺いますので、挙手をお願いします。人数の確認をしますので、確認が済むまで手を下さないようお願いします。

では、第1号議案、定款44条の第1項、第3号から第5号までを総称して、平成25年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）等一式承認の件を佐々木 幹晴 会計理事よりお願いします。

### 佐々木 理事

平成25年度計算書類の説明をいたします。総会資料29ページ貸借対照表をご覧ください。

資産の部、

・流動資産として 現金預金 2,001,673円。

固定資産の部、

・特定資産として事務所営繕取得準備金 4,512,059円。

・その他、固定資産として建物、什器備品、土地で24,880,986円。

以上、固定資産合計29,393,045円。従いまして資産合計 31,394,718円となります。

負債等ございませんので、下段の負債及び正味財産合計は31,394,718円となります。

資産の詳細は32ページの財産目録をご覧ください。

続きまして、正味財産増減計算書をご覧ください。これは、減価償却を加味した計算書になりますので収支の詳しい内容につきましては、37ページからの収支計算書にて説明いたします。なおこ

れらの計算書類一式は平成10年に公益認定委員会より発行されました地域公益法人会計基準を適応しております。それでは、37ページ収支計算書をご覧ください。

事業活動収支の部、大きな項目をもって報告いたします。

・事業活動収入	予算額 12,950,000円
	決算額 12,100,264円
・事業活動支出	
事業費支出	予算額 12,259,000円
	決算額 9,876,463円
管理費支出	予算額 3,167,000円
	決算額 2,910,499円

従いまして、

事業活動支出合計	予算額 15,426,000円
	決算額 12,786,962円

事業活動収支差額は 686,698円のマイナスとなりました。

### ・投資活動収支の部

投資活動収入 特定資産取崩収入	
65周年事業準備預金取崩収入	
	決算額 4,000,255円

事務所営繕取得準備預金取崩収入	
	決算額 115,071円

投資活動収入	決算額 4,115,326円
	投資活動支出

特定資産取得支出	
65周年事業準備預金取得支出	
	決算額 1,400,255円

事務所営繕取得準備預金取得支出	
	決算額 439,634円
投資活動支出計	決算額 1,839,889円

従いまして

投資活動収支差額	決算額 2,275,437円
財務活動収支については該当がありません。	

事業活動収支差額と投資活動収支差額を合わせました当期収支差額は1,588,739円となります。

前期繰越収支差額	決算額 412,934円
----------	--------------

次期繰越支差額 決算額 2,001,673円  
36ページの正味財産増減計算書内訳表をご覧ください。公益目的事業と法人会計内訳となります。  
先ほどの監査報告にありましたようにこの内訳表から、公益目的比率は73.6%となり、公益法人として定められた公益目的割合60%はクリアしております。

以上、平成25年度計算書類の説明となります。

#### 外崎 議長

ただいまの、平成25年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）等一式承認の件に対しまして質問がありましたらお願いします。

質問者は所属、氏名を述べてからお願いします。  
何かございませんか。

#### 伊藤 会員

西遠クリニックの伊藤と申します。

今年度は65周年記念事業として記念誌の発刊が有ったと思うのですが、この事業の費用は、収支計算書の中で、どういう形で入っているのかをお聞かせ下さい。

#### 佐々木 理事

別会計にしてあります。明細は理事会の承認を受けておりますが、余った約120万円のお金は今年度の一般会計に繰り込むようになっております。  
よろしいでしょうか。

#### 伊藤 会員

その120万円の繰越のお金というのはこの収支計算書のなかでどういう形で入り込むのですか

#### 佐々木 理事

65周年事業として別の会計になっております。  
通帳が別になっています。

#### 和田 会長

追加させていただきます。

65周年記念事業費用は単年度予算では到底できないので、平成23年度から23、24、25と3年間、23年と24年度が130万円ずつ一般会計から、65周年記念事業に使う特定費用準備金というところに繰り入れまして、25年度は事業を行ったけれども

一般会計から140万円繰り入れて、トータル400万円の中で事業を行いました。その中で支出として記念誌を1000部用意させていただきました。これが125万円の支出です。それから、65周年記念事業をやるためにには、挨拶文の印刷であるとか、封筒など、諸々の材料費がございまして、それが14万6690円かかっております。トータルをしますと、税込みで146万6524円かかっております。会場費をあわせて400万円から差し引きをすると、32ページの財産目録をご覧になっていただけますか。その流動資産の最後の静岡銀行伝馬町支店の115万6316円が余剰金で残りましたので、これを一般会計のほうに入れて、公益目的事業として使っていこうということでございます。以上でございます。

#### 伊藤 会員

丁寧な説明ありがとうございました。今の点は十分わかりました。細かいことで申し訳ないのでですが、33ページお願いします。中段の事務所営繕取得準備預金の当期増加額と当期減少額の意味が分かりません。なぜこのようにするのか教えてください

#### 和田 会長

33ページの3のところですよね。基本財産及び特定資産の増減額及びその残高の中の表の当期増加額というところですか。

#### 伊藤 会員

はいそうです。

#### 和田 会長

事務所営繕取得準備預金の方ですか。

#### 伊藤 会員

はいそうです。

#### 和田 会長

439,634円というのは、事務所の償還のために毎年度積み立てて、それをこれから後の後輩たちが事務所を購入したり、営繕をしたりするときの費用に充てようと考え、すでに積み立てを開始しているということです。115,071円というのは、エアコンが故障したためにそれを営繕費で賄ったと

いうことであります。

伊藤 会員

どうもありがとうございました。

外崎 議長

他に、何かございませんか。

無いようなので、表決に入りたいと思います。

それでは、はじめに表決ハガキによる採決結果を報告します。

第1号議案の平成25年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減書）等一式承認の件は

反対 1名 賛成 451名 保留 5名

続きまして会場採決を行いますので挙手をお願いします。採決係の方、数を数えて報告下さい。

反対、賛成、保留。

第1号議案の平成25年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減書）等一式承認の件は

反対 0名 賛成 80名 保留 0名です。

採決の結果、第1号議案は賛成多数により可決しました。

それでは、議長交代します。

利 議長

第2号議案、平成26・27年度理事・監事候補者承認の件を飯塚 知幸選挙管理委員長よりお願いします。

飯塚 会員

総会資料40ページをご覧ください。

平成26年2月14日 役員選出規程第6条に基づき平成26年、27年度役員選挙の告示を行いました。同年3月14日に締め切ったところ、4月14日の公示どおり地区会選出理事候補8名 理事会選出理事候補8名 監事候補2名の推薦がございました。定款第18条第3項の規定により、平成26年27年度理事及び監事候補の承認決議を本総会にてよろしくお願いします。

以上です。

利 議長

それでは、ただいまの平成26・27年度理事・監事候補者承認の件に対しまして、質問がありまし

たらお願ひします。

質問者は所属、氏名を述べてからお願ひします。  
何かございませんか。

無いようですので、表決に入りたいと思います。

表決は、地区会選出理事・理事会選出理事・監事に分けて行います。反対の方は選挙管理委員長の準備する用紙に不信任候補者の氏名を記入していただきます。

まず、地区会選出理事候補につきまして表決ハガキによる採決結果を報告します。地区会選出理事候補については

反対 0名 賛成 449名 保留 8名です。

続きまして、会場採決を行いますので挙手をお願いします。採決係の方、数を数えて報告下さい。

反対、賛成、保留

地区会選出理事候補については

反対 0名 賛成 80名 保留 0名です。

続きまして、理事会選出理事候補につきまして表決ハガキによる採決結果を報告します。

理事会選出理事候補については

反対 0名 賛成 449名 保留 8名です。

それでは会場採決を行ないますので、挙手をお願いします。

採決係の方、数を数えて報告下さい。

反対、賛成、保留。

理事会選出理事候補については

反対 0名 賛成 80名 保留 0名です。

続きまして、監事候補につきまして表決ハガキによる採決結果を報告します。

監事候補については

反対 0名 賛成 449名 保留 8名です。

それでは会場採決を行ないますので、挙手をお願いします。

採決係の方、数を数えて報告下さい。

反対、賛成、保留。

監事候補については

反対 0名 賛成 80名 保留 0名です。

採決の結果、第2号議案は 賛成多数 により、可決しました。

利 議長

続きまして、第3号議案、平成26年度正会員年会費減額承認の件を 和田 健会長お願いします。

和田 会長

それでは第3号議案、平成26年度正会員年会費減額についてご提案させていただきます。正会員の年会費は現行、年1万円いただきしております。ご提案は2千円減額して、年8千円とさせていただきます。その8千円にした根拠ですけれども先程からお話しているとおり、65周年記念事業が終わりましたので、一般会計から特定費用準備金の方に繰り入れていた130万円が浮くことになります。また、印刷会社を変えることにより、50万円ほどの減額ができましたので、計180万円が浮きました。

消費税が8%になった分を含めても2000円の減額は可能と判断させていただきました。宜しくご審議お願いします。

利 議長

それでは、ただいまの平成26年度正会員年会費減額承認の件の件に対しまして、質問がありまし  
たらお願いします。

質問者は所属、氏名を述べてからお願いします。  
何かございませんか。

無いようですので、表決に入りたいと思います。  
それでは、はじめに、表決ハガキによる採決結果を報告します。

第3号議案の平成26年度正会員年会費減額承認の件は

反対 1名 賛成 452名 保留 4名です。

つづきまして、会場採決を行いますので挙手をお願いします。

採決の方、数を数えて報告下さい。

反対、賛成、保留。

第3号議案の平成26年度正会員年会費減額承認の件は

反対 0名 賛成 79名 保留 1名です。

採決の結果、第3号議案は 賛成多数 により、可決しました。

続きまして、第4号議案。その他、何か審議の必要案件がありましたら、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

他に無いようですので、

第3回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の議事を終了いたします。熱心なご討議ありがとうございました。

以上を持ちまして議長団を解任させていただきます。

望月 総合司会

議長の皆様、ありがとうございました。役員の方、監事の方ありがとうございました。

以上をもちまして、第3回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を終了いたします。

# 平成26年度 臨時理事会 議事録

1. 開催日時 平成26年5月25日（日）

12時～12時20分

2. 場 所 静岡商工会議所

4階会議室

3. 理 事 16名 監事 2名

4. 出 席 者

和田 健、望月 茂、山本英雄、八木秀視、  
酒井公敏、鈴木健一郎、赤池正久、柴田純一、  
蒔田鎮靖、荒井 準、市川和秀、田中 章、  
望月浩正、片山善博、佐々木英治、竹田 守、  
窪野久之（監事）、近藤 仁（監事）  
敬称略

## （1）会長あいさつ

平成26年度臨時理事会を開催いたします。定款第34条第1項により、和田会長が議長に就任いたしました。

## （2）審議事項

① 議案1 会長、副会長、常任理事等選任の件  
和田会長

定款21条役員の設置で理事15名以上20名以内、監事2名以内を満たし、役員の選任は定款第22条で理事、監事の総会決議が終わりましたので、理事の中で1名会長、3名副会長、7名常任理事とします。まず、常任理事7名について広報常任理事：市川 和秀、庶務一般常任理事：赤池 正久、総務庶務常任理事：鈴木 健一郎、編集常任理事：蒔田 鎮靖、総務常任理事：酒井 公敏、庶務会員管理常任理事：柴田 純一、会計常任理事：荒井 準に常任理事の役割が決定しました。

定款第36条第4項により、議事録作成人には鈴木常任理事が指名されました。

定款第36条第4項により、議事録署名人には赤池常任理事、柴田常任理事が指名されました。

副会長について東部地区副会長：望月 茂、中部地区副会長：八木 秀視、西部地区副会長：山本 英雄に決まりました。

会長は和田 健に決定しました。席上全役員就任の承認を得る。

監事に近藤 仁、窪野 久之に決まりました。理事16名、監事2名で平成26年、27年を会務を運営していきます。

## ② 議案2 平成26年度補正予算書承認の件

和田会長

平成26年度の予算は平成25年度の第4回の理事会で承認を得て年会費1万円で予算を作成し、総会で年会費8千円の減額の承認を得ているので補正予算書を作成した。

収入の部の正会員会費収入が補正前840万円であったが168万円減額し、補正後672万円となった。事業活動収入計が補正前は1295万円が補正後は1127万円になった。

支出の部で事業費支出の7859千円は変わらないが管理費支出の旅費交通費支出を10万減額し、補正前管理費支出3167千円を補正後3067千円に減額した。事業活動支出計は補正前11026千円から補正後10926千円に減額した。当期収支差額補正前が1924千円で補正額が158万円で補正後344千円で次期繰越取支差額補正前が2286934円が補正後706934円になります。かなり厳しい財政になり、会費の納入期限を守り、会員の新入会、再入会を促進していきたい。

議案1と議案2の理事会承認採決を行います。

反対 0名 保留 0名 賛成 18名  
(全会一致承認)

### (3) その他

#### ① 業務執行理事について

和田会長

公益社団法人に移行する際、定款作成時に定款21条第3項に前項（2項）理事1名を会長、理事3名を副会長、理事7名を常任理事とする。前項の会長をもって一般社団法人及び一般財團法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常任理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。業務執行理事として常任理事、副会長は会務に当たってほしい。

#### ② 役員の任期について

和田会長

平成26年度、27年度の2年間、平成28年の5月総会終了まで

\* 議長が、他に報告事項、協議事項がないか諮つたところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し12時20分閉会した。

# 行事予定カレンダー (平成26年8月~11月)

8月			9月			10月			11月		
1	金		1	月		1	水		1	土	
2	土		2	火		2	木		2	日	第7回中部放射線医療技術学術大会(愛知)
3	日		3	水		3	金		3	月	文化の日
4	月		4	木		4	土	第62回超音波部会研修会	4	火	静岡ジャーナル編集会議
5	火		5	金		5	日		5	水	
6	水		6	土		6	月		6	木	
7	木		7	日	可美公園まつり 健康ブース(西部) 第35回 静岡ふれあい広場 静脈(抜針)講習会	7	火		7	金	
8	金		8	月		8	水		8	土	
9	土		9	火		9	木	第13回常任理事会(事務所)	9	日	
10	日		10	水		10	金		10	月	
11	月		11	木	第11回常任理事会(事務所)	11	土		11	火	静岡ジャーナル編集会議
12	火		12	金		12	日		12	水	
13	水		13	土		13	月	体育の日	13	木	第15回常任理事会(事務所)
14	木		14	日		14	火		14	金	静岡ジャーナル編集最終確認
15	金		15	月	敬老の日	15	水		15	土	第2回放射線セミナー(西部) 第2回胃がん検診従事者講習会(西部) 東部地区ふれあい広場
16	土		16	火		16	木		16	日	
17	日		17	水		17	金		17	月	
18	月		18	木		18	土		18	火	
19	火		19	金		19	日		19	水	
20	水		20	土	第30回日本診療放射線技師学術大会(大分)	20	月		20	木	
21	木	第10回常任理事会(事務所)	21	日		21	火	静岡ジャーナル原稿締め切り	21	金	
22	金		22	月		22	水		22	土	第1回放射線セミナー(東部) 第1回胃がん検診従事者講習会(東部)
23	土		23	火	秋分の日	23	木	第14回常任理事会(メール会議)	23	日	勤労感謝の日 秋季公開講演会
24	日		24	水		24	金		24	月	振替休日
25	月		25	木	第12回常任理事会(メール会議)	25	土	第1回静岡県MRI技術研究会	25	火	
26	火		26	金		26	日		26	水	
27	水		27	土	第1回放射線セミナー(中部) 第1回胃がん検診従事者講習会(中部)	27	月		27	木	第16回常任理事会(メール会議)
28	木		28	日		28	火		28	金	静岡ジャーナル vol.24 No.2発行
29	金		29	月		29	水		29	土	原子力災害緊急時対策研修会
30	土	第2回理事会	30	火		30	木		30	日	
31	日					31	金				

\* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌にてご確認ください。

\* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧下さい。

# 編集後記

\*編集理事として記念すべき第1号のSHIZUOKA JOURNALが完成しました。間違いがないように何度も目を通し確認しましたが・・・。いかがでしょうか。次号に向けてしばらく英気を養います。

(藤田)

\*4月より新勤務先で第2の人生のスタートです。定年退職まで長い間お世話になった前職場の仲間に感謝しながら、もう少し編集委員会のスタッフとしても頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

(三輪)

\*今年度より編集委員となりました。なれない赤ペン先生で、毎回、何気に読んでいるジャーナルもこのような地道な努力があったのかと、改めて歴代の編集員の皆様に感謝する次第です。今後は、少しは皆様のお役に立てるようにならっていきたいと思います。

(市川)

\*今年度庶務一般を担当することになり、各理事の方々の献身的な協力によって静岡県放射線技師会が成り立っていることを痛感しております。今まで土曜勤務をすることのなかった私にとって、現在隔週勤務とはいえ、休みが少ないことが残念です。また趣味の農作業の時間が取れないことも残念です。しかし畑でリフレッシュして明日への活力としていきます。少しでも技師会の役に立てばと思っています。

(赤池)

\*初めて技師会事務所を訪れた時、大先輩の方々を目の前にし、来る場所を間違えた！！と最初は焦りと不安で一杯でしたが、とても優しい先輩方に支えられながら、今では楽しくジャーナルの編集作業をしています。20代の若造ではありますが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。（杉山）

\*平成26年度最初のジャーナルとなります。ワールドカップも終わり夏となりました。体調崩してませんか？適度に休みを取りましょう。そして秋を迎えましょう。

(島田)

会誌「しづおかジャーナル」Vol.24 No.1 2014 平成26年7月25日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 和田 健

編集者 : 藤田 鎮靖

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号  
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

## 事務所案内

勤務時間：月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで

TEL(054)251-5954

勤務時間外は留守番電話にてお受けいたします。

FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp